昭和45年12月23日第3種郵便物認可昭和45年9月1日発行毎月1回1日発行

日本バドミントン協会

バドミントン界

THE BADMINTON WORLD

no.13
1970
september



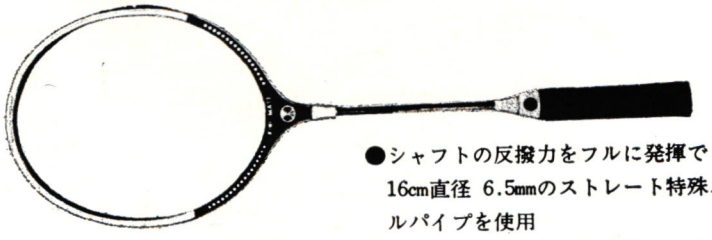
反撥力 抜群！

ストレート特殊スチールパイプで
シャフトの効果が倍増されました
あなたのプレイが注目の的です

新製品 No.3500 キングメイト

KING MATE





●シャフトの反撥力をフルに発揮できる全長16cm直径 6.5mmのストレート特殊スチールパイプを使用

●小銀杏構造と輸入木材を基にした革命的な特殊合板でバランス、耐久力は抜群

サンパタ
株式会社 諸江製作所 東京都渋谷区笹塚2丁目46番8号
電話(377) 4401(代表)

私のひとこと

【第2回】

成せば成る〟の信念

練習でバテることを恐れるな

小島一平（ヨネヤマ・ラケット）



バドミントンを始めて、今年で十四年目になる。その間は七転び八起きで今日までやってきたが、やはり現在の目標は全英選手権に優勝したい、ただその一言につきる。

これまで私は自分に対し〝成せば成る〟と自己暗示をかけ、ひとつひとつの目標を〝攻略〟してきた。

しかし、二月のトマス杯、三月の全英で、連続してルディ・ハルトノ（インドネシア）に打ちのめされ、彼に勝つには「ただがむしゃらに練習するのではダメだ。また、目前の試合だけに集中しないで、バドミントンそのものを追求する姿勢にならなければ」ということを考えるようになった。

私の信条は「練習では、バテることを恐れるな」である。

それは、つまり最初の基本練習から全力でやり、行きつくところまで行き、それでぶっ倒れたらそれでいいじゃないか、ということだ。

バドミントンは、だれのためにやるのでもない、自分のためにやるんだ。自分でそれだけやったと思えば、満足じゃないか。そして、これこそ、強い選手になる近道ではあるまいか、と私は考えるのだ。

私は幸運にも、これまで十四回の海外遠征の経験してきたがその間、終始一貫して考え、やってきたことが、いくつかある。

まず第一に、どんなに環境や場所が変わっても、必ずマイペースをつらぬくこと。もちろんあの程度の国際交流、つまり親善的なおつき合いは必要だが、それは試合が終わってからでも充分じゃないかと思う。

とにかく、自分は試合のために来たのであり、試合で負けて親善だけうまくなっては、なんにもならない……。

もう一つは食事のことだ。これは、その土地、土地の食べものをとのことだ。

たとえば、暑い東南アジアへ行って、日本食のような薄味のものを食べていたのでは、絶対に身体がもたない。やはり中国料理のように、こってりしたものが望ましい。

これは海外旅行の例だが、一般論として、食べものは、その土地の〝生活の知恵〟から生まれたものであり、こうした点は考えなければいけない。

スポーツというものは、頭で割り切れぬ面が多い。だから頭で考えていてもダメで、まず身体でぶつかって、そのときそのときで頭を切りかえていかなければならない。

また自分自身の体を、いち早く知ることが大切だ。そして、バドミントンに対し、自分はこうだ、という一徹した考え方を確立することが必要だ。

（全日本選手権者）

「バドミントン界」《第13号》

▽競技会▽
▼特集　インターハイ（高校選手権）……2
★団体戦男女、個人戦団体具評（高木記子、天野博江、堺　栄一、小島一平、須田孝夫）
★大会に参加して（監督、選手の手記）
★私の観戦記（佐藤茂雄）
★総評（松本弘充）
★ママさん選手とインタビュー
★ヘアピン
▽レポート▽
▼日本協会の組織と運営……12
▼タイトルにそむいた〝東日本学生〟……14
▼まだまだお寒い底辺組織（指導委員会の全国アンケートから）……17
▼指導者研修会に参加して（受講者の手記）……16
▼私の指導法（終）中学校の場合……32
▼あちらの雑誌（マレーシア）……渡辺真規子
▽講座▽
▼家庭婦人教室【3】……伊藤基記
▼入門編……【2】……編集部
▼ルール100問……【12】
▽よみもの▽
▼北から南から……18
★北海道でがんばる三姉妹（父親の手記）
★幅広い市民活動（奈良天理市）
▼告知板……23
★インドのチャダ氏大いに語る、ほか
▼ラスト・コーナー……28
▽写真グラフ▽
▼全国高校選手権ハイライトから……24
×　×
▼レコード（インターハイほか）……26
表紙／撮影・松井亮磨　デザイン・小浜正道
カット／おおば・比呂可、秦　浩

男子

富山商が〝三冠〟飾る（団体・個人単複）

真岡女、成安突き放し五年ぶり二度目

陣内（女子個人）は単複とも手中に

次代を背負う若人の〝熱と力の祭典〟第21回全国高校選手権大会は、高校総合体育大会のトップを切って、七月二十七日から八月二日まで、名古屋市の愛知県体育館で行なわれた。

団体戦の男子は、前年度の勝者・金沢市工がベスト8を待たずに敗退する波乱があったが、全体的には、やはり、北陸勢が強く、結局、富山商（富山）が新潟商（新潟）を破って、五年ぶり三度目の優勝を獲得した。

女子は過去二連勝の東大阪が不出場で混戦もようとなったが闘志と粘りの真岡女（栃木）が戦力的には上とみられた成安女（京都）を突き放し、やはり五年ぶりに二度目の栄冠をものにした。

個人戦の男子は、シングルスが西村、ダブルスは森田・松島組と、いずれも富山商勢が勝ち、結局、富山は団体と合わせて〝三冠〟に輝いた。

同じく女子は関西勢が強く、団体準優勝校・成安女の陣内がシングルス、ダブルス（パートナー岡崎）ともに制して〝二冠王〟となった。

団体・個人戦ともに、記録の詳報は巻末の「レコード欄」に。

また、本欄の短評は団体戦が堺栄一、小島一平、高木紀子、天野博江のト杯、ユ杯選手。個人戦は須田孝夫（ユ杯主審）の担当。

正強、準決で意外？の不振

団体戦

【男子】

▼準々決勝

正強（奈良）3（単1―0 複2―0）0（愛知）名電工

新潟商（新潟）3（単1―0 複2―0）0（岐阜）岐阜東

富山商（富山）3（単2―0 複1―1）1 日大山形（山形）

伊勢工（三重）3（単2―1 複1―1）2 桐生市商（群馬）

▼準決勝

新潟商　3―1　正強

○山田 2（15―6 15―6）0 西川

竹内 0（8―15 9―15）2 中井○

林 2（15―10 15―11）0 異

○山田

新潟商は、山田の単・複にわたる活躍と、特にダブルスにおいて発揮された伝統の力で、戦前の予想〝正強が有利〟を見事にくつがえした。

一方の正強高は前日までは破竹の勢いで勝ち進んだが、一日経っての準決は、ベスト4入りが初めてということが影響したのか、コンディション調整の面でかえって裏目に出た感が強かった。

富山商　3―0　伊勢工

○森田 2（15―4 15―7）0 福村

松島 2（15―7 15―11）0 服部

○西村 2（18―15 15―11）0 小林

新村 2（18―15 15―16 15―13）1 井崎

○松島 2（15―13 15―16）0 福村

富山商の順当勝ちであった。むしろ伊勢工が昨年度準優勝の桐生工を倒してここまで勝ち残ったことは賞賛されてよい。

頭抜けたエースこそ不在だがねばっこいプレーを主体としてツブがそろい、そして、チームワークが実を結んだといえる。

特にダブルスの健斗が光った。

▼決勝

富山商　3―1　新潟商

森田 0（15―9 15―15 17―15）2 竹内○

松島

○西村 2（15―8 15―5）0 林吉井

新村

○松島 2（15―8 15―6）0 竹野

○西村 2（18―15 7―15 15―13）1 山田

新潟商、先制も及ばず

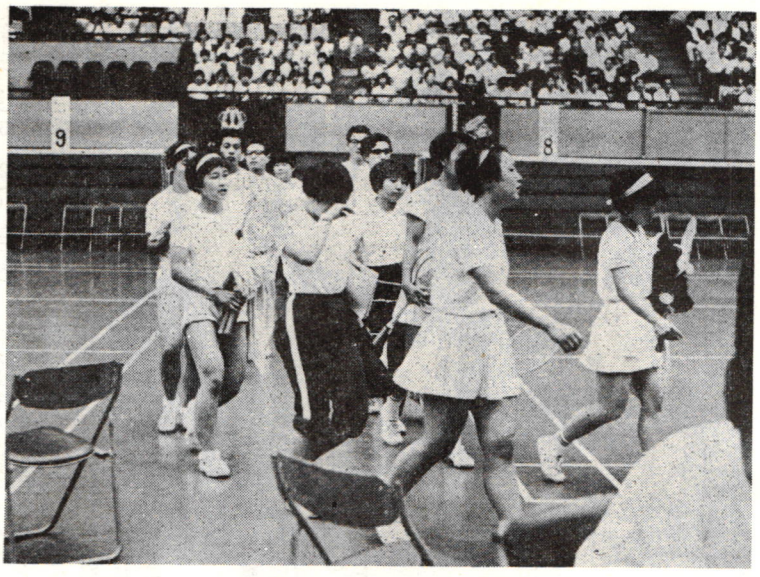
富山商が体力、気力でわずかにうわまわったことが勝因であった。

新潟商の第一ダブルス（山田・竹野）が力で押してくる富山商の松岡・西村組をうまくかわし1ポイント先取したことが、その後の試合展開に大きな盛り上りを加えた。

第二ダブルス、第一シングルスは富山商の順当勝ち。

第二シングルスは富山商の西村が新潟商のエース山田のはなつスマッシュ攻勢にあいながらも体力・気力でよくねばり、最後はセッティングの末ものにし富山商も五年ぶり三度目の優勝へ導いた。

成安女、オーダーに失敗



【女子】

▼準々決勝

成安女（京都）3（単2―0 複1―1）1 平商（福島）

四条畷（大阪）3（単1―0 複2―0）0 善通寺（香川）

新庄南（山形）3（単2―1 複1―1）2 富田女（岐阜）

真岡女（栃木）3（単1―0 複2―0）0 上市（富山）

▼準決勝

成安女　3―1　四条畷学

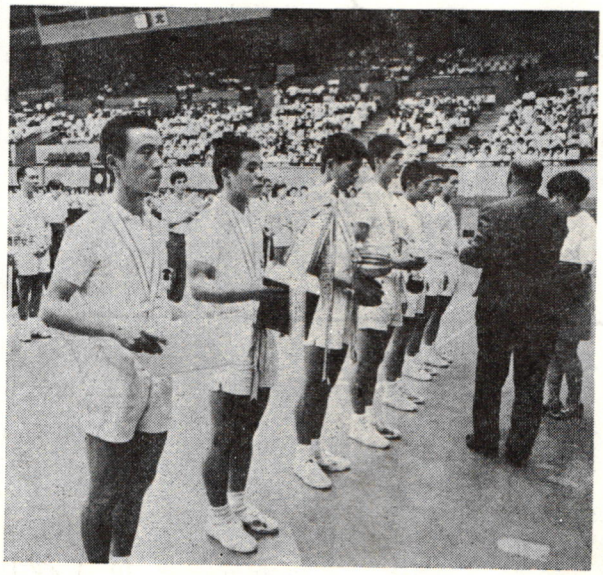
真岡女　3―0　新庄南

○藤井 2（15―0 15―2）0 早川
小林 2

○大貫 2（15―7 15―4）1 清水
池田 2

○藤井 2（11―11 2）0 小野
池田 2

勝敗は明らかにチーム力の差であり、新庄南の駒不足はおおうべくもなかった。しかし、新庄南の二年生、矢口の健斗がここまで新庄を引きあげた大きな力となっていた。



▼決勝

真岡女　3―1　成安女

○小林 2（15―9 13―9）0 谷尾
藤井 2

池田 0（3―11 15―15）2 ○陣内
大貫 2　岡崎

○小林 2（11―1 4―11 1）1 尼崎
藤井 2

○池田 2（15―11 6―8）1 岡崎
大貫 2

成安の敗退はオーダーの失敗が大きく原因した。陣内に体力的な不安があったかも知れないが、成安としては順当に正攻法をとるべきであった。成安は2・4・5のポイントをねらったつもりであろうが陣内・岡崎を3に置く強気の策があってよいと思われた。

これに対し、真岡女は組合せにも恵まれ、チーム・コンディションの調整にも成功し、除々に盛り上り、これに押せ押せムードと伝統の力がうまくかみあって五年ぶり二度目の優勝を遂げた。真岡にしてみれば正攻法がかえって幸いしたといえる。

○陣内 2（15―9 8）0 西尾
岡崎 2　秋本八

○谷尾 2（15―9 8）0 佐古
崎　秋本幸

陣内 1（6―11 11―11 8）2 秋本八○
内　2

○岡崎 2（11―5 11―5）0 秋本幸

両校は互いに対称的なプレーをみせて興味をひいた。成安はオーソドックスに、一方の四条は拾ってかわすタイプ。

だが、四条のダブルスがわずかに劣ったことと、リーチ、スピードで成安が上回ったことが成安の勝利につながった。

敗れたとはいえ、四条の、のびのびとした試合ぶり、陣内を破った秋本姉（二年生）の存在を考えると、来年に大きな期待が持てる。

西村の気力、初手から銭谷圧倒

……個人戦……

▼男子シングルス準々決勝

銭谷（大聖寺）2（15—4、15—2）0山口（札幌工）

市村（大鶴丘）2（15—9、12—9）0巽（正強）

西村（富山商）2（15—9、15—6）0加藤（名電工）

金田（天理）2（15—12、9—9、0—キケン）0飯野（三条商）

▼準決勝

銭谷 2（15—12、15—11、9—1）1市村

市村はカンのいい動き、とくにネット前のさばきがすぐれていた。銭谷は長身を利したスマッシュ、レシーブのよさでじりじりと追い上げ逆転した。実力はほぼ互角と思われたが、第3ゲームの市村のサーブ・ミスが明暗を分けた。

西村 2（3—15、15—3、1—2）1金田

双方ともオールラウンドのプレーで接戦したが、西村の気力と体力が金田を上回った。技術的には金田の方が切れ味がいいように思われたが、ゲームを先取しながら、それが続かなかった。

▼決勝

西村 2（15—6、10—0）0銭谷

西村の団体戦優勝の自信と気力が最初から銭谷を圧倒した。銭谷は準決よりもスマッシュのスピードがあり、内容的にもよかった。今後の課題は足腰をきたえることだろう。いずれにしろ、双方とも今後、非常に楽しみな選手である。

▼男子ダブルス準々決勝

森田、松島（富山商）2（15—9、15—12）1堀口、土田（三条商）

巽、西川（正強）2（15—11、15—6）0工士、坂本（九州学院）

日下、曽根（高松一）2（15—9、9—0）0青山、竹村（金沢市工）

山田、竹野（新潟商）2（15—1、2—0）0牧田、中山（福井）

▼準決勝

森田 松島 2（15—6、12—6）0巽 西川

団体戦のベスト4入りの原動力となった巽・西川のペアも、自信に満ちた森田・松島組のスマッシングを拾い切れず、力負けした感じ。

山田 竹野 2（15—8、15—5）0日下 曽根

日下組はレシーブのよさをいかんなく発揮してベスト4に進んだが、反面、これといったきわ手がない。コンビネーション■とツナギ球のよい山田組が総合力で一歩まさった試合だった。

女子単、陣内のスマッシュ冴える

▼女子シングルス準々決勝

陣内（成安女）2（11—1、11—3）0森田（富田女）

西尾（四条畷）2（11—0、12—10）1藤井（真岡女）

秋本八（四条畷）2（11—7、11—9）1岡崎（成安女）

佐伯（市一条）2（11—11、11—5）0宮崎（長崎商）

▼準決勝

陣内 2（11—8、11—11、11—9）1西尾

ファイナルは西尾が9—6とリードしたが、この辺から勝ちを意識しはじめて自分のペースを保てず、逆に陣内の威力に押された。

秋本八 2（11—12、11—5、10—0）0佐伯

▼決勝

松田 島 2（15—11、15—10）0竹山 野

団体戦決勝と同じ対戦となった。ところが団体で白星をあげている山田組に元気がなく、とくに山田の凡失が命取りとなった。松島組はサーブ・レシーブがさえ、あぶなげのない試合運び。団体戦の雪辱をとげた。

▼決勝

陣内 2（11—12、11—4、10—0）0秋本八

1ゲーム目、秋本が10—7でリード、すばらしい試合を展開していたが、陣内は準決同様、スマッシュを確実に決めて挽回2ゲーム目はそのまま陣内のペースで運ばれた。秋本がクリヤーをもっと使っていたら、相手の攻撃を防ぎ、転機を見出せたかもしれない。

▼女子ダブルス準々決勝

岡崎・陣内（成安女）2（15—12、15—11）0藤井・小林（真岡女）



スカウトも花ざかり

スタンドには、大学各校のOB、主将、マネジャーが目白押しというまでもなく明年の戦力補強を目指してのスカウト合戦だ。

プログラムを片手に、ポケットに自分の所属を表わす名刺はおきまりのスタイル。

目にとまった選手がいると早速く集まってのヒソヒソ話し。

「選手を呼んで直接当ってみるか？」

「いや、やっぱり先生を通さなくちゃまずよ」

「じゃ今夜でも宿舎を訪問といくか」

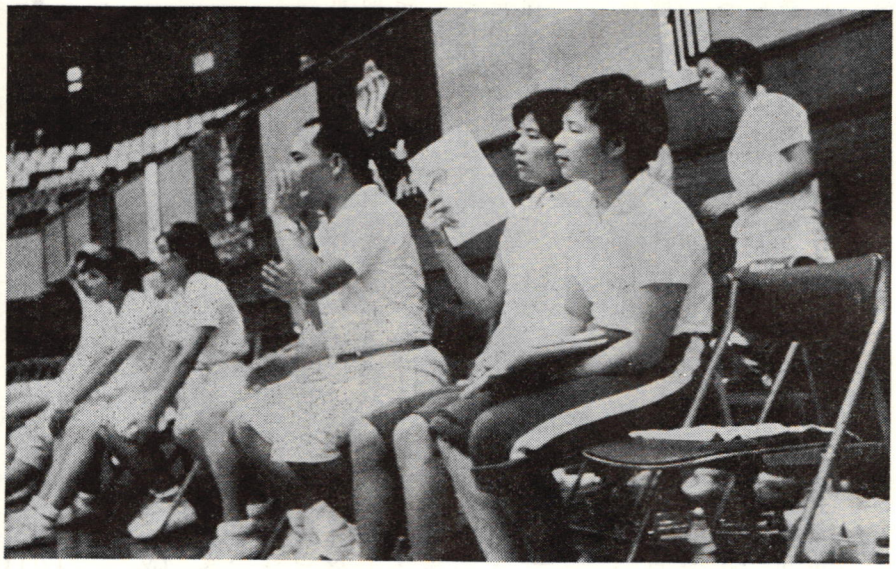
「オイ○○大がきたぞ。だまっていろよ」

「ヨウ、どうだい、お前のとこ派手にやってるナ。成果はどうだい」

「俺んとこは全然ダメ。入試がむずかしくて強気にいけないヨ」

「俺のところも同じさ。協力し合おうぜ」

こんな会話があちこちで聞かれるのも毎年のこと。良いことなのか？悪いことなのか？



清水・矢口（新南）
2
（15—7—15
—10—18—6）
1
松田・石田（金沢二水）

宮本・高橋（新潟青陵）
1
（15—7—15
—1—18—6）
2
谷・尾崎（成安女）

秋本八・西尾（四条畷）
2
（15—7—15
—15—4—0）
佐伯・古谷（市一条）

□……□

▼準決勝

岡崎内
2
（15—15—
6—4—0）
0
清水
陣内
矢口

陣内組は優勝候補の筆頭。矢口組の少々、力不足は否定できず、リーチやキャリアの差が感じられた。ただ、矢口は二年生ながら、この試合だけでなく、団体シングルスでも大活躍し、将来が楽しみな選手である。

秋本
西尾
2
（15—15—11—
—8—9—15）
1
谷崎

ともに二年生同士の対戦となったが、わずかに安定性のある秋本組がファイナルのすえ勝利を手にした。しかし谷組が準々で新潟青陵の宮本組を撃破しベスト4に残ったことは賞讃に値いする。谷も今後が期待できる。

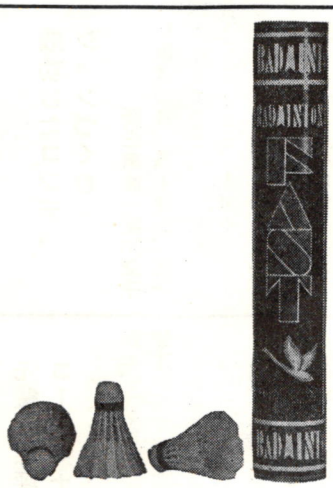
▼決勝

岡崎内
2
（15—15—
11—5—0）
0
秋本西尾
陣内

陣内組にくらべ、秋本組は攻撃力がやや不足していた。第2ゲーム10—5とリードしたのがせいいっぱいだった。陣内のバートナー岡崎が安定したストロークでチャンスをつくり出したことは讃えられる。ダブルスはやはり、攻撃力のあるプレーが勝利への近道であると感じさせた。

水鳥　検定合格球

ファストゴールド
ファストシルバー



ファスト印シャトルコック製造発売元　有限会社　ジャワ商会

山形市六日町7-28
電話 02362（22）3994(代) 3280・0545

▼……特集　全国高校選手権大会……▲

大会に参加して

監督・選手の声

はたしたベスト4入り

影の力・杉田コーチに感謝

四条畷学園高
監督・片岡輝明

団体戦はベスト4が目標であった。昨年、準々で敗れた苦い思い出を胸に、一年間、練習に明けくれた。いま、目標を達成できた喜びはひとしおである。

主力の秋本姉、西尾は二年生ではあるが、中一以来、私の下にあり、十二分にその実力を発揮してくれた。

三年生の佐古はチームでただひとり、高校入学後、プレーをはじめた選手であるが、よく健闘した。

また秋本妹は一年生で初出場ながら、その落ち着いた態度は監督の私でさえおどろくほどの活躍をして、上級生の盛り立て役をしてくれた。

経験の浅い私にとって、この大会は大きな教訓を残して終った。今はただ、来年に備えて、静かに思索の時間がほしい気持である。

わずか二度目の出場で思いもよらぬ活躍ができた裏には、コーチの杉田先生の存在がある。

私の大学の後輩であり、我が校中学部の監督である彼は、常に蔭の力となって活躍してくれている。私ひとりでは到底ここまで来れなかったと感謝している。中・高一貫したシステムがとれるのは実にこのためである。

来年は二人で手をとり合って喜びを分かちたいものである。

今後は〝粘り〟と〝執念〟を

正強高校
顧問・谷口　章

第三位に入賞できたのはチームワークと、全員が平均した力を持っていたためであり、また滝野(法大)植田(近大)川本、真壁その他の諸先輩の協力のおかげである。

加えて、春休みの金沢市工、高松商高、大聖寺高などとの練習試合の成果だと思う。好成績で入賞できたのは、皆の協力のおかげと感謝している。

今後の課題は、試合に対する〝ねばり〟と、タマを絶対にコート内に入れるという執念を養なうことである。この点、今回の新潟商高戦でよくわかった。

北陸勢は、この点では満点であり、それに目に見えない伝統の力が大きく勝敗に影響しているように思う。本校でもあわてずに確実なプレーをして、全国優勝を目標にがんばる覚悟をあらたにしております。

来年はさらに前進

平商高・作山美代子　目標達成ベスト8！来年は一段上に地味に前進！

同・伏見香代子　「人間、精神、粘り」――この言葉をかみしめて！

同・助川ひとみ　プレーヤーは同じ女学生、私だって、やればできる。

同・千葉陽子　己れに勝つことを目標に、あとで悔いを残さぬ信念で！

同・加藤ふさ　自分を知り、他人より自分に勝つこと。地味なプレーを。

同・宮内すみ子　46年全国大会善通寺めざして地味に努力・前進。

教訓を生かしたい

新庄南高
コーチ・奈良間信剛

1　トレーニング、基礎練習試合（または乱打）の三つに分けてやっております。トレーニングはダッシュ力と根性をつくることを目標に、基礎練習はチ密さの中にも豪快なプレーを心掛けるように指導している。

2　天井の高い体育館に対しての訓練を選手が納得するまでやりました。

3　今大会で得たことを生かし、来年度も半歩前進したいと思います。

4　学校対抗準決勝戦でエースのヒザの負傷で、不本意なオーダーでのぞんだのが心残りです。

成功したコンディションづくり

新庄南高・星川澄子

私達は毎日、基本練習、部分練習などを重点的に、また、試合近くになると、先輩や、男子の方との試合練習もやっています。

試合の一カ月ぐらい前から、練習の途中に、くだものを食べ

ヘアピン

名物、二監督のベンチ采配

今やインハイ名物？の感があるのが富山商・不破監督と、真岡女子高・遠井監督のベンチでの采配ぶり。

教え子のプレーに立ったり坐ったり一喜一憂。そして声をからしてのシッタは毎年この大会で見られる姿。

そして奇しくも今年はこの両監督のひきいるチームの優勝。もしかすると来年は

「ホレ！　何をしとる。もっと奥をつかんかい！」

「アホー、そんなザマで勝てると思ってるのか！」

こんなシッタがどこのチームのベンチからも聞こえ、流行するかも…。

先輩に悪評、コートマナー

トマス杯の堺、小島、ユ杯の高木、天野などがそれぞれの先輩達の間で一様に評判が悪かったのが選手達のコートマナー。

〝ベンチ同士の試合のよう〟

〝試合後の挨拶〟

〝ミスシャトルを拾うワザとらしい態度〟など。

今年は「特に悪い」そうだ。

〝友人を得た〟こともうれしい

三重・伊勢工高　小林　親（主将）我々の練習は、どちらかといえばダブルスに重点をおいている。ダブルスはショート・サービスが主体だけに、確実なショート・サービスができるよう、時間をかけて練習しています。

シングルスは、どうしても体力が大きく左右します。そのため、体力のつくトレーニングを多くとっています。

今大会で一番心配だったのはコンディションの調整でした。宿舎に着いた二十七日は「食事を充分とり、早く休息するように」と先生にいわれたが、その日の夕食などは、みなほとんど食べなかった。

それに暑くて寝られなかったこともあって、二十七、八日のコンディションは最低に近かった。日がたつにつれて、上向きになったが、注意をしながらもこんな結果を招いたのは残念だったり、また、体に故障がある時は、無理をせずに、それなりの練習をしたり、家の人にも協力してもらい、コンディション作りを徹底した。

今年の第三シードを取ったのを機会に、来年度も、また47年度にもそなえて、良い成績で次の時代にバトンを渡せるようにしたいものです。

無欲でかちとったベスト・8

平商業顧問・永井祥一　初出場の金沢大会で一回戦3―2で甲府二高に、桐生で二回戦3―0で東大阪にそれぞれ敗れ、本大会に臨んだ。三回戦まではどうしても負けられないという気持で練習に励んだ。でも強いチームが目白押し、どこまでやれるか疑問に思った。生徒には「勝つことよりも自分に納得のいく試合をせよ」といい聞かせた。この無欲がベスト8にはいれた原因と思っています。

来年の普通寺では、ベスト4をめざして努力したいと思います。歴史の浅い我部をいろいろな面で御指導いただきました皆様に心より感謝いたします。

本当のことをいえば、団体のベスト8は、われわれ選手はもちろん、先生も予期しなかったと思います。その意味で大変うれしかった。

しかし、勝負ばかりでなく、他校の友人が多くできたことも最も嬉しいことの一つです。

来年度は、この成績を後退させないよう、また、今回ふるわなかった個人戦、特にシングルスにも力を入れたい。

来年もがんばります。

悔いのない試合ができた

四条畷学園・佐古与吏子（主将）最後の学年であったので、悔いのない試合をやろうということに全力を使った。すべて終ったいま、ダブルスの内容に自分では満足できるプレーができたと思っています。

同・西尾真理子、秋本八代美（二年）自分には来年があるから今年は無理だ、という気持ちがあったため、優勝できなかったと思います。



問題残した応援マナー

書き換えられなかった男子の勢力地図

総評

日本体協・日高連会担当常務理事
松本弘充

本年度のこの大会は近年に見られない特殊事情下に開催の運びとなった。

即ち、インターハイが総体と銘をうって開催されるようになって八回、おそくとも三年前には開催地が決定されるのに、今回は、近畿地区高体連の不手際から決定をみず、昨年十二月関係者の努力と愛知県協会、高体連の犠牲的精神の発露とによって幾多の曲折の結果、名古屋市で開催されることになったからである。

従って、予算措置の問題、審判員養成の問題、会場確保の問題、練習会場の問題等々、派生する問題が山積みされ、会場の確保と大会を開催するということだけでせい一杯だった。

運営役員の確保、補助員の確保は非常に困難を極め、昨年好評を博した桐生大会の運営のようにやりたくてもできない状態であり、主管者は勿論、参加選手に何かと不便、迷惑をかけたことはやむを得なかったことと思われる。

しかしながら主管協会、主管高体連専門部の首脳部の人々や会員の献身的な、涙ぐましいまでの努力の結果、成功裡にこの大会の幕が閉じたことについては、満腔の敬意の念をもって感謝の意を表したい。

試合は男子の団体戦が富山商の優勝、新潟商の準優勝と北信越勢に占められ勢力地図は書き改められなかった。

富山商は単複とも優勝を飾ってトリプル・クラウン（三冠）に輝き、韓国遠征の初符を手に入れた。団体の奈良正強、三重伊勢工や個人の天理金田、高松第一・日下、曽根の健斗をたたえたい。

女子では東の雄、真岡女子高が五年ぶり二度目の優勝をかちとった。個人戦で単複ともベスト8に各一を送り出したにすぎない真女が、複で一、三位、単で優勝をものにしている成安を破り栄冠に輝いたのは、選手の気力と体力、監督の作戦采配の妙を如実に発揮したものといえよう。団体戦の新庄南、個人の清水、矢口（新庄南）の活躍は立派であった。

今回の選手および応援についてはいろいろ問題がある。

無用のかけ声が非常に多く、数年前に逆戻りした感があった。上位入賞校にしてしかり。選手は勿論、指導者の今後の留意を希望する。

また、観衆の声援が非常に多く、度を過ぎたものがあった。再三注意しても、その当座だけといった状況であった。プレー以前の問題である。野球等と同一視されてはたまったものではない。各地方の指導者は充分留意の上、指導にあたられんことを望んでやまない。

この大会が最も模範的な試合であり、観衆態度であることの一日も早い実現を希望する。

ともあれ、冷房装置の体育館での試合であったので、各選手

私の観戦記

意外に低かった個人レベル

日本協会競技力向上・指導委員
佐藤茂雄

男女とも優勝戦は見応えがあったが、どちらも精神的な面が大きく左右し明暗を分けたようである。

特に女子の成安対真岡の一戦は代表的なものであった。戦前から絶体有利と評されていた成安が、真岡の猛追にあえなく敗退してしまった。

昨年準優勝し、メンバーもそのままだけに、なんとしても優勝をしたかったに違いない。優勝をあまりにも意識しすぎて堅くなり、そのため実力を発揮できぬまま焦り負けた感がある。

一方の真岡は、底抜けに明るくリラックスした気分と、遠井監督一流のベンチ・ワークでどんでん返しの勝利を掌中に収めたといえよう。

本年の遠井監督は全国高体連の副部長として、立場上、仕事が山積し、練習を充分見る時間がなかったが、厳しく激しいトレーニングを続けた松本コーチの力も、絶対に見のがすことができない。

ともあれ「実力」の成安対「根性」の真岡の一戦は非常に興味深かった。

男子優勝の富山商・不破監督も「根性」勝ちだといっていたが、私の経験からも、高校スポーツは技術面も、もちろん大切であるが、やはり精神力の充実こそ勝利を呼ぶものといえよう。

さて、個人戦であるが本年ほど男女ともレベルの低い年も珍しいのではなかろうか。

ただ、その中で女子の場合は、活躍した大半が二年生の若い選手であったことを思うと、将来が非常に楽しみである。

四条畷の西尾・秋本姉妹の基本に忠実なプレーを筆頭に、バネのある成安の谷・尼崎、キメは荒いが練習しだいではまだまだ伸びる一条の佐伯・古谷、粘りの新庄南の矢口、更に平商業、富田女子の活躍等、ユ杯の卵はいっぱいである。

本年は技術的にはなんら見るべきものはなかったが、来年は四条畷を中心に、久々にハイ・レベルの技術が見られるものと早くも期待している。

大会史上初の冷房使用

大会総務委員長
日本協会常務理事
伊藤鉱一

昨年末、インターハイ開催の要請を受け、準備期間わずか半年あまり。充分な体制ができず参加者の皆さんにご迷惑をおかけしました。しかし、各位のご協力のおかげで、無事、本大会が成功裡に終了しましたことを感謝いたしております。

本大会の開催にあたっては、運営面においては、準備委員会から実行委員会への移行、そして実施と、三段階にわたって準備がなされました。

資金集め、企画等の準備中に高校就職関係、安保による政治活動等、思わぬ悪条件が重なり最悪の状態ではありましたが、限られた一部の協力者によって最大の努力を傾け、準備を遂行しました。

補助役員をふくめ、大会期間中に約五百人もの競技役員を必要とするため、全般にわたる業務内容のわかる〝インターハイ競技役員心携〟を作成し、役員全員に配布して万全を期した。

大会期間中は、予期しなかった諸問題を解決するため、毎日競技終了後、主任会議を開いてその日の反省、明日への準備等を話し合って、競技に支障のないよう努力した。

特に、本年は男子優勝校が日韓高校競技会に派遣される関係上、大会中に短時間で渡航手続きを解決しなければならなくなり、個人戦に支障をきたす結果をまねいた。今後、このようなことがないように、一考を要したいものである。

限られた予算の範囲で、最大の努力と最大の演出効果をはかったつもりだったが、実際には数多くの反省資料を得た。今後の運営に役立てたいと思っています。

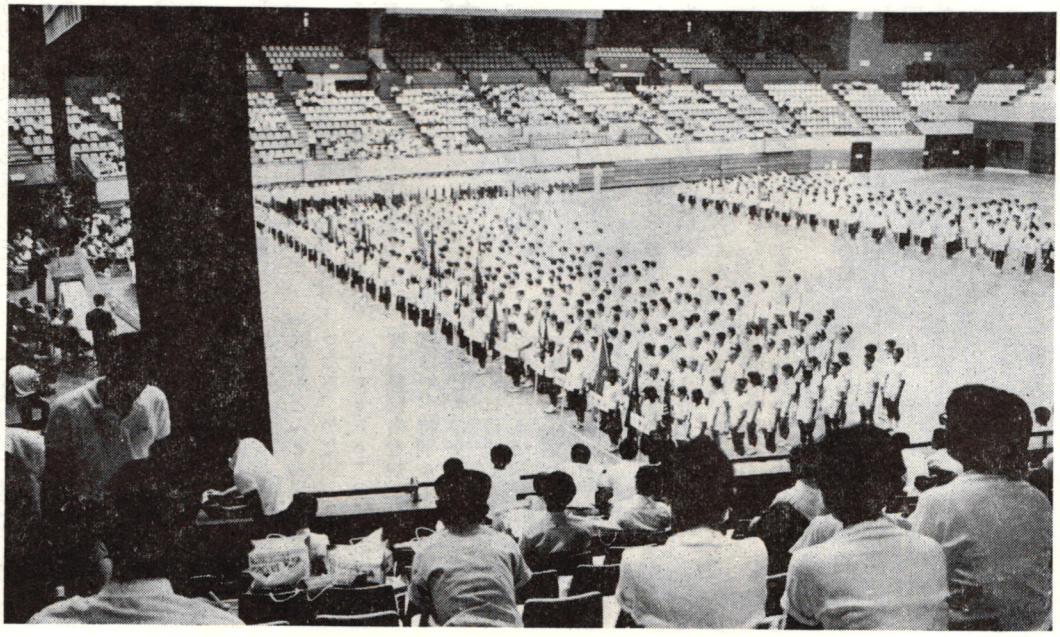
ただ一つ、誇り得ると思うのは冷房。三十五度という外気の猛暑が、館内にまで持ち込まれては、いい試合ができないと、ともこの点では充分プレーできたものと思われる。そして目立った事故もなく終始できたことは、よろこびにたえない。

目立った選手、とびぬけた選手、大型の選手の見出されなかったこと、昨年からの選手の伸びが少なかったことなどが印象に残る。女子単でベスト4の中三人までが二年生、一年生で占められたことに、一縷の望みを託し得る大会であった。

愛知県体育館を二十五度の適温に冷房した。これはインターハイ始まって以来、初めてのことであり、こうしたサービスをなし得たことは、愛知県の大会歴史に新しい一ページを記録することになった。

いずれにしても、インターハイが、地元に与えた影響は多大なものがある。中、高校生、学生、社会人それぞれが、この大会の収穫を、今後の躍進のためのエネルギーとして役立てるものと信じています。

最後に、さる二十六年、第一回大会が横浜市のフライヤー・ジムで開かれてから二十年。インターハイが、このままでよいものかどうか、再考してみる時期に来ているのではなかろうかと思う。また、高体連バドミントン部会組織のあり方についても、同様、再考されんことを念願するしだいです。



ママさん選手とインタビュー

――全国高校のスタンドから――

団体戦の第二日目、スタンド貴賓席は時ならぬ顔ぶれでにぎわった。

本誌第3号で特集し、反響を呼んだ、愛知県協会が中心となって実施している〝女性バドミントン教室〟の生徒（？）約十五人のママさんたち。熱心に観戦していた。

そこで早速、バドミントンの女王〝高木紀子先生〟とともに一問一答してみた。

（日本協会広報委・秦浩）

× × ×

――インターハイをごらんになって、どうお感じですか。いままでも試合はいろいろ、ごらんになりましたか。

「さすが高校生の大会だけにはつらつとして新鮮だね」

「そうね、でもやはり、見るより自分でラケット振る方がいいわよ」

「大会はいろいろ見ようと思うんですが、日程がよくわからないことが多くて…」

――コート・マナーはどうですか。

「シャトルをネット・ミスしたときなど、ひったくるように取りに来るでしょう。何かわざとらしく感じない？ああまでしなくてもと思う」

「試合が盛り上がってきたとき思わず応援が行きすぎになるのは多少しかたない」

――話題を変えましょう。バドミントン教室にはいった動機なは？

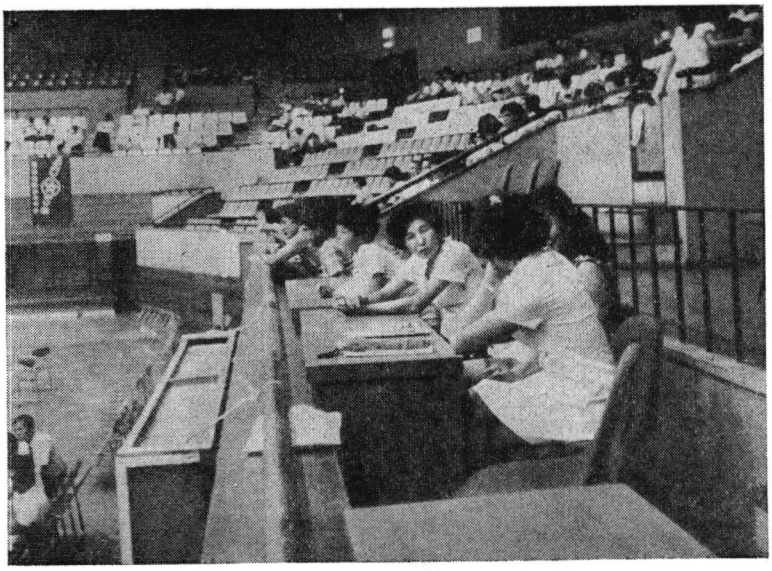
「朝日新聞が女性スポーツ教室を開いたのがきっかけ。私は過去にスポーツ経験がないんですけど、子供たちにも手がかからなくなり、何かいい気分転換がないかと思っていた矢先きでバレーに申し込んだ。それが定員で仕方なしにバドミントンを選んだんです。でも今ではすっかりバドミントンのトリコよ」

「私は学生時代にやっていたので迷わず……とにかく手っとり早いのがいいわ」

――バドミントンをはじめて家庭内やその他の面でのプラスマイナスなどは？

「まずマイナスはないと思うわ。ストレス解消には最適よ、およそプラスばかりね」

「時々、練習をサボったりするでしょう、すると、かえって身体がおかしいくらいよ」



▲高木選手（うしろむき）と歓談するママさんたち

〝見るよりやる方が〟家庭生活にプラスが多い

「クラブ内はお互いに面倒みあって和気あいあい。本当に楽しい。スポーツを通じての団体生活の味ってすばらしいわ」

「私も……やめる気なんかぜーんぜん」

――バドミントンに対する認識などについては？

「私はバドミントンは全然、知らなかった。それにお正月の羽根つきぐらいにしか考えていなかったのよ。でも今はすっかり変わったわ。子供たちにもやらせようと…」

「そうね、男の子にはちょっと不満があるかもしれないけど女の子には最適ね」

「室内競技であるというハンデがあるから、今後はそう大きく、例えばサッカーのような発展は無理かと思うわ」

――ママさん全国大会などが企画されたら参加されますか？

「そうね、出て実力をためしたい気もするけれど、私達は素人でしょう。大学や高校での経験者がどんどん出てくるようだったら、かないっこないし」

「アマチュアの域を出ない程度で経験者を規制し、ダブルスだけで、特別ルールを、例えばサービスの交代などむずかしいルールは廃止したりする…そんな大会だったら面白いかも。でも無理な注文かしら」

――最後にクラブに対して注文などがありますか。

「時間的には今のは適当ネ。ただ人数の割りにコートが少なくてはいれないので、もっと広い場所を希望したいわ」

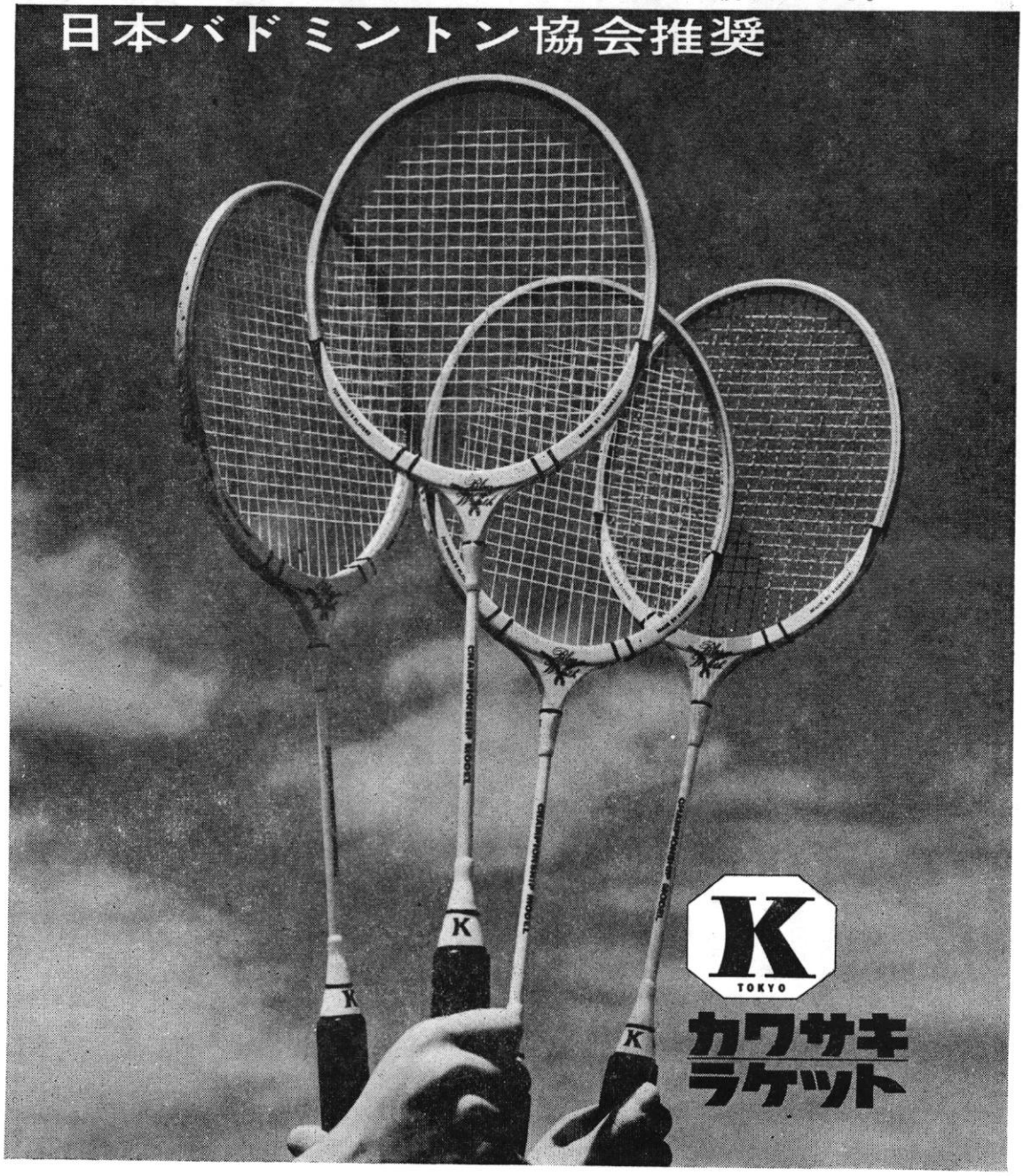
「コーチの人がみな学生さんでしょう。私達より皆さん年が若いので遠慮がちなのね、もう少しきびしくしてもいいと思うわ」

と不満もちょっぴり。でも日本中がこんなママさんたちでうずまったら、どんなに楽しいことだろうか。

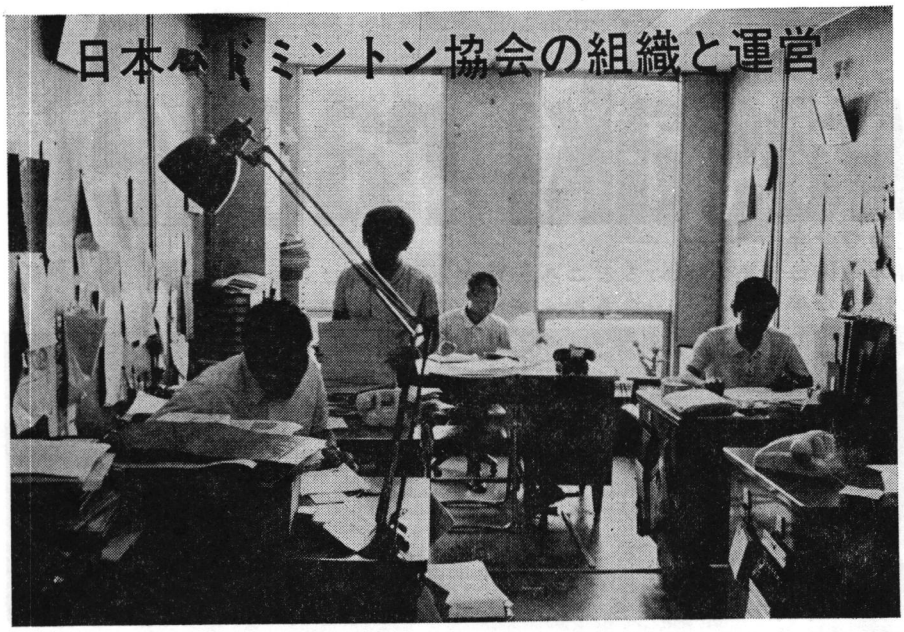
kawasaki racket

ラケットの名門カワサキ——

長い歴史と抜群の技術は世界が認めるところ、にぎった瞬間にわかるバランスのよさ、その確かな手ごたえ……もちろんチャンピオンも使っています。



日本バドミントン協会の組織と運営



地方協会・三連盟の連合体

登録者による会員組織

仕事の推進役は9専門委員会

日本協会の組織構成

日本バドミントン協会は①全国47の都道府県協会のほか、②全日本学生連盟③日本実業団連盟④日本教職員連盟――という四つのアマチュア競技団体から成り立っている。

これらを日本協会の〝加盟団体〟という。このうち、①の都道府県協会は、日本協会の直接の支部組織だが、他の3連盟は、支部とか下部組織というより、〝友好協力団体〟に近い。

なんとなれば、これらの連盟は、それぞれ、地域あるいは都道府県ごとに支部組織を持っており、その支部が、それぞれ府県の協会の構成組織となっているからだ。

これらの、いずれかの組織に〝登録〟して〝会員〟となっている人だけが、これら組織が主催する競技会に参加できる。つまり、アマ競技団体というのは一種のクラブ（仲間の集まり）なのである。

そして、日本協会についていえば、この協会そのものに登録していないプレーヤーは〝七大会〟と称される、年間七つの〝全日本〟選手権には出ることができない。また、審判員となることができない。

日本協会の上部団体

さて、日本協会が、数多くの組織から複雑に成り立っているのと逆に、日本協会は、対外的に二つの団体に加盟している。

ひとつは日本体育協会、もう一つは国際バドミントン連盟である。

日本体育協会は、略して体協と呼ばれ、バドミントンのほか日本を統括する37のアマ競技団体と、全国47の都道府県体育協会で構成されている。これに準じ、○○県バドミントン協会もまた、その県の体育協会に加盟している。

なぜ、バドミントンが体協に加盟しているのか。それは、バドミントン協会だけの力ではできない事業を、体協の力をかりてやることができるからだ。

たとえば、オリンピック、アジア大会、国体、ユニバーシアード、全国高校総体、日韓高校などの主催、あるいは選手派遣は、この体協の仕事である。

つまり、体協は日本のアマ・スポーツ振興の総本締め。このため、たとえばバドミントンに対しては、選手強化や世界選手権（ユ杯、ト杯、全英など）の費用を援助してくれ、また、アジア大会では、ほとんど全額の費用を担してくれる。

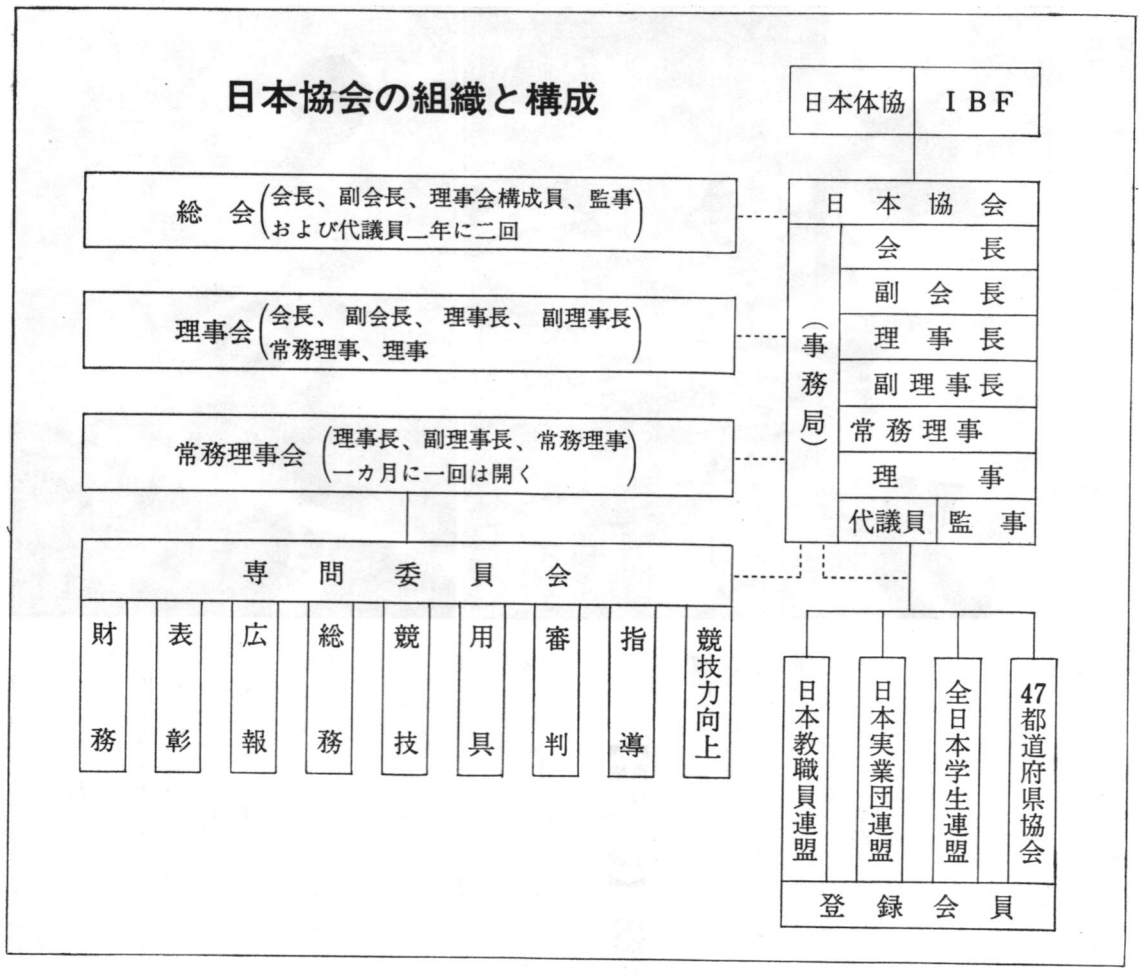
国際バドミントン連盟は略してIBFと呼ばれる。これに加盟していないと、IBFが関係する一切の国際競技に参加することはできない。

日本協会の運営と機関

日本協会は、競技の開催、指導、普及などについての、すべての仕事をする。

このため、理事会の下に専門委員会を置き、これらすべての〝窓口〟として事務局がある。

協会全体の意志を決定する最高機関は総会だが、通常、その下ごしらえをして、仕事を進めていくのは理事会。しかし、理事は数も多く、全国に散らばっているので、常務理事会が毎月一回、会議を開いて、なすべき業務についての基本方針を決定専門委員会が、これに従って個



々の具体的な仕事をする。

日本協会の専門委員会

専門委員会の長は、原則として常務理事レベルの人がなる。現在ある専門委員会は九つで次のとおりとなっている。

◉**総務**＝協会運営の全般的な事項、組織、規約、会議の運営研究、予算・経理、渉外、事務局の運営管理など。

◉**競技**＝競技会の開催・運営、競技規則、大会運営規定、ランキングに関すること。

◉**指導**＝競技の指導普及に関するいっさいのこと。

◉**用具**＝用具に関する一切のこと。調査研究や検定・審査。

◉**審判**＝審判と審判員、ルールに関するいっさいのこと。

◉**広報**＝競技と協会に関するPRのいっさいのこと。

◉**財務**＝運営・事業資金の確保、増収などに関すること。

◉**表彰**＝功労者、優秀選手などの表彰に関するいっさい。

◉**競技力向上**＝第一線選手の強化、国際交流、第一線指導者（コーチ、トレーナー）の育成強化などのいっさい。

日本協会の事務局

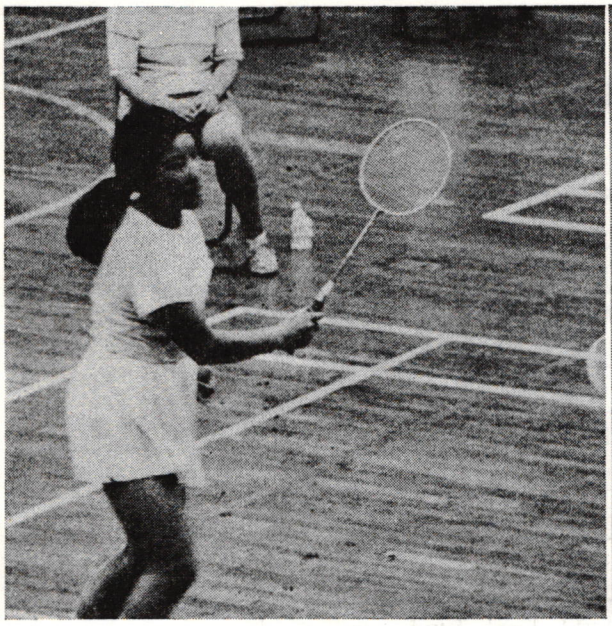
あらゆるものの窓口であり、事務の代行、下請けをやるのが事務局である。一般にアマ競技団体の役員は、自分の本職の余暇に仕事をする。つまり無給だが、事務局は仕事量がぼう大で〝片手間〟ではつとまらない。

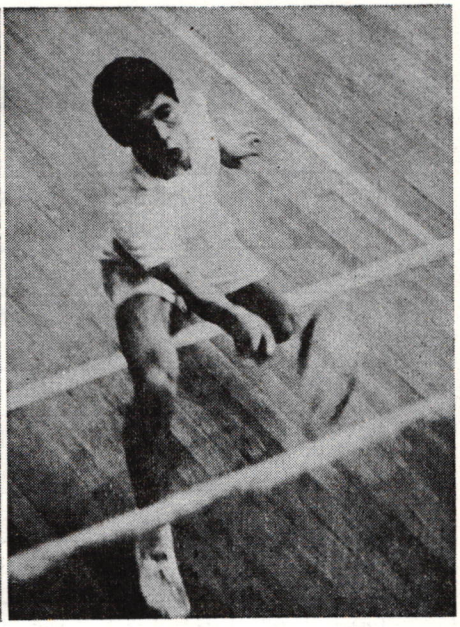
現在、日本協会では事務局長以下、三人が有給で仕事をしている。いずれも、バドミントンについては、なんでも知っているベテランばかりである。

事務局は体協の建物である岸記念体育会館（東京・渋谷区神南一ノ一ノ一）四階にある。バド界の編集部、日本学連、関東学連の事務も同じ室でやっている。日本協会の諸会議は、原則として、この体育会館の会議室で行なわれている。

日本協会の財源

協会が仕事をするのに、なくてはならないものは、お金である。バドミントンばかりではないが、アマ競技団体の財源は①会員の登録料②用具の検定、審査、推奨料③競技会の入場収入④寄付⑤加盟団体からの納入金⑥上部団体からの補助――など。バドミントンのように入場料収入が非常に少ないと、せっかく、いい企画を立て、普及発展をはかろうとしても、どうにもならない。財源の確保、収入の増加をどうはかるかが、日本協会、地方協会をとわず、大きな問題となっている。





◀山並（東北学院）右　加藤（山形大）左　など少数の東北勢は健斗して異彩を放ったが……

〝タイトル〟にそむいた〝東日本〟

【総評・東日本学生】参加者ゼロだった北海道勢

まず最初に今度の東日本大会は〝第二の関東選手権大会〟であった、といわねばならないだろう。

本大会は北海道・東北・関東の各地区からの多勢の参加で開かれ、その目的は各地区選手の交流、また、各地区の相互のレベル・アップにあるはずなのだが、今年の場合は北海道が0、東北にしても十名足らずとふるわず、結局ほとんど関東勢で占められるという結果になった。

その原因を探ってみると、一概にはいえないが、経済的、地理的な条件があるように思われる。これを解決するために、本大会は関東地区では開かずに、北海道と東北で交互にやってはどうかという案があるが、これは各地区にも事情があるだろうし、難かしいかも知れない。

とにかく今後この大会を盛り上げるためには、両地区代表と話し合うなど、研究の必要がありそうである。

次に試合中の改めた方が良いことなどをあげると、第一に選手のマナーが悪かったようだ。

これは、試合中に相手が分の後輩であったとき相手を激励しながらやっていたこと、また選手がけいれんしたとき、ただちに棄権を申し出なかったこと、あるいはそれに関連して審判もけいれんした選手に棄権を勧告しなかったことなどである。

相手の選手がけいれんを起した場合、対戦している選手は非常に試合を進めにくくなってくる。相手に同情してはいけないと知りつつもついタマがあまくなりがちである。また見た目にもあまり良いものではないだろうし。これらを防ぐためにも、棄権を勧告するような審判の配慮が欲しかった。

それから試合中、とくにダブルスにおいてであるが、声を出し合いながらやっている選手が多かったこと。

これは、国際大会の場合はフォルトをとられる可能性があるし、試合を見に来る中学生、高校生などが真似をすることがあるので、今後つつしむべきだと思う。

次に、試合中選手がバスタオルをコートのわきにおいてやっていたこと。これも、ハンカチ、小さなタオルをポケットに入れてやるべきだと思う。

それから、今度は審判についてであるが、ダブルスの時にオーバー・ウェスト、オーバー・ハンドをもっと厳しくとるべきだし、先輩・後輩にかかわらずもっと毅然とした態度でジャッジをして欲しい。

これはこの大会に限らず、リーグ戦においてもいえることなので気をつけて欲しい。とにかく審判は神聖にして、かつ絶対のものであることを選手も審判も頭に入れておいて欲しい。とくに試合中、審判の判定が不服だからといって審判をラケットでたたくなどというのはもってのほかである。

今年は関東地区では、秋季リーグ戦、インカレ、全日本総合と試合が多くあるので、くれぐれも最初にあげたように、けいれんを起すことのないよう各自練習において充分に体力をつけておいて欲しい。（全日本学連委員長・菅原元）

公　　告

日本バドミントン協会では総会の決定に基き、昭和45年度の協会検定、審査合格および協会推奨の用具を、本欄のように決めましたので、ここにお知らせします。

昭和45年４月１日

日本バドミントン協会

昭和45年度日本バドミントン協会審査合格用具推奨用具

ラケットの部	銘柄名	会社名	摘要	ウェアーの部	銘柄名	会社名	摘要
	ラッキーセブン張上（#7）	株式会社ヨネヤマラケット			(男子)#106シャートパンツ	株式会社ヨネヤマラケット	
	スリーエート張上（№8）	〃			(男子)#107シャツ	〃	
	クインハートフレーム（#1,000）	〃			(男子)#105シャートパンツ	〃	
	カレッヂエイトフレーム（#3,000）	〃			(男子)#108シャツ	〃	
	カレッヂエイトデラックスフレーム（#4,000）	〃			(女子)#203ミニスカート	〃	
	ファイブエースフレーム（#5,000）	〃			(女子)#204シャツ	〃	
	ファイブエースデラックスフレーム（#6,000）	〃			(女子)#202ミニスカート	〃	
	レディエースフレーム（#6,500）	〃			(女子)#205シャツ	〃	
	アルミナエースフレーム（#7,000）	〃			(女子)#200スカート	〃	
	アルミナエースデラックスフレーム（#8,000）	〃			(男子)#104シャートパンツ	〃	
	キングダイア（#2,000）	〃			(男子)#109シャツ	〃	
	コールドキング	株式会社諸江製作所			(女子)#206シャツ白	〃	
	ダンロップ	〃			(男子)№500 リースバドミントンシャツ	河崎ラケット工業株式会社	
	キングクリッパー	〃			(男子)№533 リースバドミントンシャートパンツ	〃	
	キングメイト	〃			(女子)№500 リースバドミントンシャツ	〃	
	シルバーデラックス	〃			(女子)№592 リースバドミントンスカート	〃	
	ハイ・スピード（№2）	大阪合繊株式会社			チャンピオンバドミントンシューズ	〃	
	ハイ・トーマス（№3）	〃		シューズの部	バドミントンシューズ	株式会社ヨネヤマラケット	
	フィアレス（№10）	〃			アタックシューズ	株式会社諸江製作所	
	フェニックス・インペリアル（№30）	〃			アタックデラックス	〃	
	エクセレント（T-1）	〃					
	ブルーリース（№B-6P）	河崎ラケット工業株式会社					
	エバーウィン（№206）	〃					
	カアルトンオールスチールラケットスリーポイントセブン	日本カアルトン株式会社					
	№8 ウィンナー	株式会社トヨダスポーツ					
	№1,000 ニューミニ	〃					
	№3,000 ブルー	〃					
	№4,000 アルバート	〃					
	№5,000 ニューアルバート	〃					

〝平等主義〟と〝英才教育〟の板ばさみ

……とかく女子は扱いにくい……

ほしい一貫指導のコース➡卒業するとナシノツブテ？

私の指導法・中学生の場合（最終回）

大阪・花乃井中　渡辺真規子

4・悩みと問題点

悩みや問題点は数えあげればキリがないが、まず第一が当然ながら〝練習の悩み〟である。

時間、場所、指導、予算、シャトルの不足…特に教員の日直廃止により、警備員制度がしかれたため、練習時間が十分でなく、非常に気を使う。全国のみなさんたちは、こうした問題をどう解決していらっしゃるのでしょうか。

私たちは土、日はもちろん、普通でも遅くまで練習するので〝敵視〟され、生徒といっしょに、小さくなっていなければならないし、警備日誌には悪口ばかり並べられてしまう。

技術指導研究のため、外に出ていくことも多く、神経を使う。

女子のクラブでは、ケンカが絶えず、ささいな原因でも大きなことに発展するので、まとめていくのが大変。男なら、あっさり割り切れることが、女子では、いつまでもぐずぐず、文句ばかり並べ、ひがみっぽい。

私のエネルギーの大半は、この〝まとめ〟に費されてしまうが、諸先生方は、この部のまとめをどう捌いていられるのだろうか。

第三は指導者としての自分自身の悩みである。生徒に平等に接し、平等に扱うことと、持てる才能を伸ばす個人指導との間のムジュ――ンみんな平等に楽しみ、伸びる権利はあるのだが限られた範囲で、卓越する個人個人の才能も大きく伸ばしてやりたい。

長年の間に、私は悩みつつも冷酷な精鋭主義をとってきたように思う。ラケットを手にした多くの生徒たちに、わびなければならない点が多い。

指導の一貫性についても、考えさせられる。せっかく、中学で〝なにか〟に賭けて一生けんめい育ててきた生徒たちを、それ以後、見ていくことができないということは、さびしく、つらいものである。

いつも毎年のエースたちの卒業期になると、私もいっしょに卒業したい気持ちでいっぱいになるほど。もう、次のものたちのことは念頭になくなってしまう。最近は、あきらめの念が強いが、何とか方法がないものかいまだに思う。

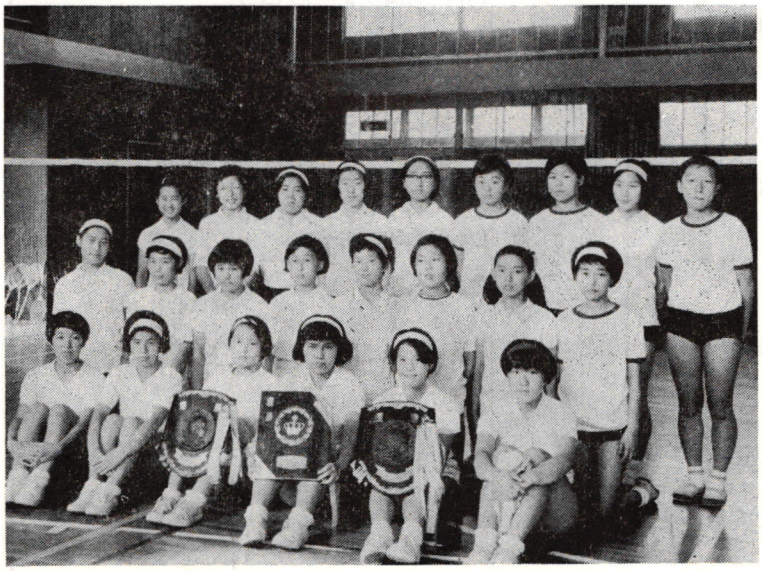
即ち、進路の問題である。生徒たちの一番の悩みは「花乃井に高校があったら」ということである。

卒業を間近にひかえた生徒たちが、毎年残してくれることばである。実際、やっとこれから、というころに卒業では、やり甲斐がない。

卒業した連中も、最初だけはなにかと甘えて訪ねてくるが、一年もたてば、もう、かなりの距離ができ、むかしを思い、なつかしがる生徒も少ない。

現代っ子たちであり、特に都会のど真中の子供たちは、そういう人情味に乏しいのが大変、残念である。

私が心魂を傾けてうつつを抜かしていた女子のレギュラーほど〝遠くなりにけり〟のような気がする。向うの方でも「先生



▲ 後列から前列へ1年，2年，3年の部員「この中から未来のエースが出るかも」日々の哀歓の中で教師は・・・・・

は現役ばかり中心で…」と思っているらしい。

それに反して、中学時代は気の毒に、放りっぱなしだった男子は、卒業すると、大変なつかしがって、よくやってきては後輩のめんどうを、あれこれと見て、熱心に指導してくれる。自分のことは投げ出しても、都合をつけ、無理してくれる場合も多い。

なんだか、どこかが間違っているようだが、男と女の本性のなすワザのちがいと割り切ってまた冷酷と非情な一面がなければ強くはならないのだから、と相変わらず、女の子ばかり相手に追っかけ、中学三年間をキリに手放なすことにあきらめている。

それにしても、一貫した指導が続けられればと思わない日はない。そうすれば、現在までの多くの卒業生たちも、また別の成功を収めていただろうと思う。

一旦は、卒業後もバドミントンに賭けながら、途中で放り出すものが多く出るのは、私のもとで甘えていたせいもあろうが次の指導に慣れるまでに相当の日時を要し、また当然のことながら、中学での心身の発達と技術の伸びは、それ以上の場でのものと異質でありすぎる。

中学生の指導としては、ずいぶん深入りしすぎている私であるが、ともあれ、早く一連の指導体制が出来ることを心から願う。

学校体育と社会体育とのつながりを密にし、指導の継続性と発展を考慮し、それぞれの才能を、心ゆくままに伸ばしてやりそれを通じて信頼される人間関係を創造していくことは、これからの社会にとっても、有益で、大いに期待されることであると考える。

まだまだ、いろいろな問題や悩みは限りないが、日々、それらを乗り越えて、地道に一つづつ励んでいきたいと願って、私のつたない経験談を終わりたいと思います。

（おわり）

指導者研習会に参加して

有益だった仲間同士の交歓

だが日バ協会は冷淡？

栃木県　近藤　満

前号掲載の「第14回全国指導者研修会」に参加した、受講者の方から、便りがよせられた。これは伊藤指導委員長のもとから当編集部にまわってきたもので、ほかにもお便りがあったのが、編集の都合上、二氏の手紙だけを、ここにご紹介することにした。

これまで、この種の研修会に参加された方々で、本誌愛読者である人々も多いことと思う。本誌では、今後の指導、講習などに役立てるため、これらの方々からの率直な希望、意見、批判等が数多く寄せられることを期待している。

今回初めて、全国指導者研修会が、六月という、いわばシーズン中に開催されたわけであるが、終って一日置いた今、振りかえって見ると、忙しい中を出かけただけの甲斐があった。色々な面でプラスになったからである。

先ず、熱心なバドミントン指導者が全国から集まり、その何人かと話し合えたこと。そして情報交換ができたことである。

次に、伊藤先生の幼児から遊びを通して、バドミントンに親しませる具体的なお話を伺うことができたことである。

三番目に、大阪の佐藤先生から聞かせていただいた、大阪府の中学生の大会の実状である。

四番目は、ユ杯のフィルムを見せていただいたことである。

五番目は、東京新聞の後藤さんの話であるが、少々お声が小さく、低いため、残念ながら聞きとりにくかった。

そして最後に、今回の研修会の主催者は、日バ協会なのかと疑いたくなるような、日本バドミントン協会の幹部の冷淡さである。

伊藤先生をはじめ、脇坂先生、佐藤先生、大変お世話になりまして有難うございました。

今後とも、我々地方で、少しでもバドミントン競技の根を広げようとしている者を御指導下さいますよう、お願い申し上げます。

〝一本の指針〟を得た

今後も社会体育に微力を

岡山県　岡本　武利

大変感謝しております。

全国指導者研修会に参加して今までに会得したことと、指導委員長、講師、その他各地よりの参加者の体験談など、総合して一本の指針を得ましたこと、ものです。

最近、岡山県下において、スポーツ少年団が各地域に結成されております。単一種目バドミントン・スポーツ少年団も結成され、小学四年より中学三年までの団員で活動を始めました。

最初は、ラケットも思うように振れなかったのですが、基礎体力づくりより始め、ラケットを持つ喜び、羽根を追って走るその中に、バドミントン競技の妙味をハダに感じつつ、地域社会人との対抗競技が出来るようになったのも、結成以来三年目でした。

そのかげには、県バドミントン協会より器具の提供、学校当局の体育館の常時使用、資金不足による地域社会体育団体より補助金を受けるなどの協力があり、地域に密着した活動により底辺の拡大をめざしています。

弾力のある身体を持ち続けましょう

思いきり，投げ，ひっぱたく喜び

日本協会指導委員長　伊藤基記

前号で「歩くこと」の大切なことを強調しました。今回は、「弾力をもった身体」について述べましょう。

私は体力づくりの講演をたのまれて、その場にのぞんだときに、必ず聴衆の方々に、次のような質問をします。

「貴方方の生活の中にとぶ、投げる、打つというような身体をバネのように使う動作が含まれていますか」と。ところが手をあげる人が全くないか、あっても一人か二人程度なのです。

生活の中に含まれないくらいですから、主婦の家事動作の中にこれを見出すことは殆んどないといってよいでょう。

特に、家事労働の機械化によって、ますます筋肉運動は減少する一方なのですから、身体全体を弾力的に使う運動は何か、工夫をしない限り、主婦の生活から消滅してゆく運命にあるといえるでしょう。

きりりと締った、張りのある肉体が若さの現われであると思います。そういう身体は、前述の中にくどい程繰り返して挙げている。とぶ、打つ、投げるというよな身体のバネを使った運動の継続によって獲得できるものですし、依持できるものであることは勿論です。

ステージでハネ回っているすぐれたダンサーの身体をごらんになれば、だれにでもうなずけることです。また上述の運動を多分に含んだスポーツをしている人々の身体をみても、なるほどと思うに違いありません。

主婦の家事動作の中にこれを含ませることは、勿論不可能に近く、強行すれば、茶腕は割れ、ふすまは破れるいうことになりかねません。

夫婦げんかを派手にやらかせば、とぶ、打つ、打げるという動作が含まれるのですが、これはどうもここでご推奨申しあげるわけには参りません。

徒手体操や手具体操でこの目的を幾分果すことができないことはありませんが（従って部屋の中でもできないことはありませんが）これは永続きさせることがむづかしいようです。

この体操というのは、どうしても動作に目的をつけることが直接的で「意味」がうすれる関係から、どうしても実際にボールなどを投げたり、打ったりすることにくらべて、魂をいれることが、やりにくいわけです。

やり方にもよりますが、体操ではなかなかでてこない汗が、ボールの投げ合いをすると、たちまち気分がでて、びっしょり汗をかいて、ハッスルするという場合が多いようです。

何かをねらって、とび回り、投げたり、打ったりして楽しんでいるうちに、身体がよくなる（体力もつくし、姿勢もよくなるし、プロポーションも磨かれてゆく）。

…こういう重宝な主婦向けのスポーツは何か……と申しますと、あ、また伊藤先生がバドミントンにひっぱって来た、と苦笑される方もあるかと思いますが、踊りでも、バレーボールでも、バドミンでも、テニスでも何でも結構です。

何か、のびのびを体を使って思いきり、何かを投げ、ひっぱたくような、弾力的、発散的な運動をせめて一週間に一度でもやれるように工夫して下さい。

弾力的れ運動をつづけないところに、身体の弾力が生れるはずがないではありませんか。

運動によって、体格を急変させることを、成人した主婦の方に望むのは無理ですが、体質の方は、何年もつづけておられれば、必ず、その運動に順応してゆくものですから、何とか食いかかってみて下さい。

とにかく理屈をぬきにして、思い切って、ラケットを握り、コートに立って、お友達やお子様と向き合って、ハネの打ち合いをやってみて下さい。

夢中になってひっぱたいたあと、汗をふいて、飲む水のうまさを味わって下さい。スカッとさわやかとは、これだと実感されるに違いありません。

親子であれば、スキンシップで愛情をふかめることが考えられますし、お友達であれば、さらに友情が深まるでしょう。

スタイルのことはあとにしても、スカッとした気持をつづけているうちに、貴方は内臓の具合が、すこぶる良好であることを、数ケ月を経ずしてお気づきになるでしょう。

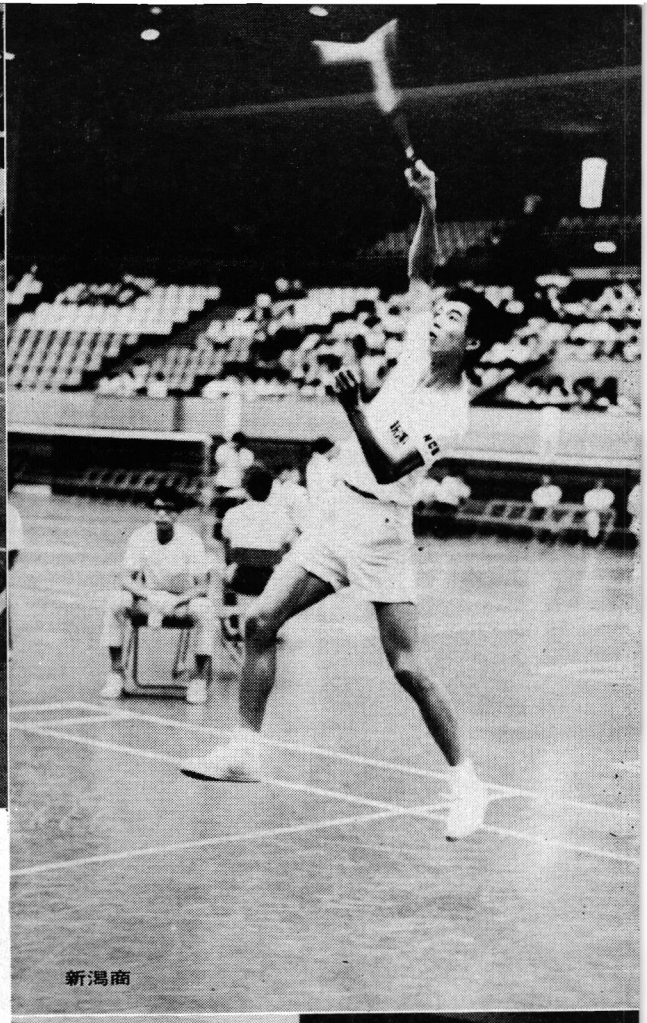
とぶ、なげる、打つことは、貴方の身体に対する、全く素晴らしい物理的刺激であるてとをかみしめて下さい。



第21回全国高校選手権から　（女子団体・真岡女子高優勝の一瞬）



新庄南



新潟商

青春とはなんだ

青春とはなんだ——バドミントンに熱中している若き諸君に、この問いかけは必要ないかもしれない。

スポーツは、やること、つまり手段自体が目的。苦しみも悩みも、それを乗り越えることが喜びであるからこそ、存在の意味がある。スポーツもまた、同じことだ。

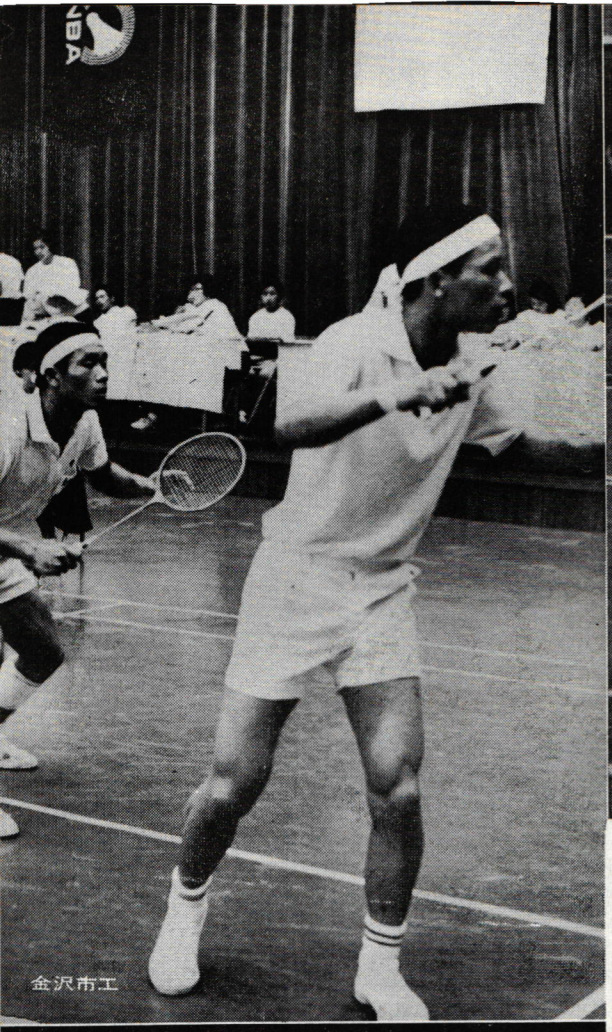
青春とはなんだ——それは、ここにかかげた写



成安女



桐生市商



金沢市工



残念！とどかない

真が、無言のうちに答えてくれている。ただひたむきに、ひとつのことを追いかけ、ふりかえらず、悔やまないとき。それが青春だ。

欲も得もなく、ただ無心にシャトルを追いかける。ただ、勝ちたい、ということだけが頭にある。だが、負けたからといって〝損をした〟わけではない。そんなことを思う必要もない。

よし、このつぎこそ。ファイトがまた、もりあがる——それが青春だ。



東海



ああ、からだが無限にのびたなら



コートのうら・おもて





クリヤーのすすめ

とっつきやすく、練習しすい

まず大きく打ってみよう

本誌編集部

まず、頭上のタマを打て——バドミントンには何種類ものストロークがある。だが、その中で最せいんぱんに使われ、しかも打ちやすいものは、いったいなんだろうか。

「こいつがなければ始まらない」というのは、試合の場でのサービスだが、そのほか、といえばクリヤーだろう。

もちろん、クリヤーにもいろんな種類があるし、人によっては、クリヤーよりドライブが先決という説もある。しかし、初心者は、意識して、自分のストロークを使い分けできるどころか、正しく打つことにすら責任を持てない。

だから、ここでいうクリヤーはハイ・クリヤーのことであり、それも誤解を招くなら、オーバー・ヘッドで、力いっぱい遠くへ打つストローク、といってもいい。

とっつきやすいだけでなく、非常に有益なストロークという点で、クリヤーは練習のしがいがあるものだ。

バドミントンには、いろんなストロークがあるが、これを大別すると、高い打点から打つものと、そうでないもの、ということになるだろう。

この高い打点からのストロークの代表がクリヤーである。少し技術の進んだ人なら、スマッシュやドロップは、ハイクリヤーの応用であることに気ずくはずだ。

なぜ、クリヤーが初心者にとって打ちやすいか。

第一はオーバー・ヘッド、すなわち頭上でシャトルをとらえることだ。身体のヨコヤ下方で打つより、この方がやさしいことは、だれにでも理解できるだろう。

第二は、スピードの問題。全力で打たれるシャトルの初速は新幹線よりも速いが、これがバック・バウンダリ・ラインに到着するころは失速状態、つまり速方ゼロに近い。従って、シャトルのスピードに慣れない人でも、捕えやすいのだ。

第三に、距離の問題がある。初めてボールを握った人を相手にキャッチ・ボールをやると、とんでもないところにタマが飛んでかったりする。しかし、力いっぱい投げてみなさい、というと、これは上手下手を抜きにして、だれにでもできる。

技術(握り方、投げ方)のないものに、コントロールはない。しかし、できるだけ遠くへ投げるのに、いわゆるコントロールは必要でない。

バドミントンでも同様だ。さいわい、シャトルはコートのタテの距離(バック・バウンダリ・ラインとラインの間)ていどにしか飛ばないようにできている。初心者が力いっぱい打っても、場外ホームランになる気ずかいは、さらさらない。

もう一つ、初心者にとって都合のよいこと、それはネットを考えなくともいいことだ。バドミントンのネットは、高さが1尺50以上もあって、かなり高い。だから、ヘタなのにスマッシュやドロップをやると、ネットにひっかからないかどうか、大いに気にしなくてならだい。

だが、クリヤーは、できるだけ高くできるだけ遠くへ打つものだから、ネットの心配がいらない。逆にいうと、ネットもなく、コートもなくても、練習できる便利さがある。

今回は、別に〝クリヤーのすすめ〟を語るつもりではなかった。ただ、まず〝入りやすく、基本的で、多くのことに応用できる〟ものから、やったらどうか、ということなのだ。

しかも、これれ相手がなくとも、ちょっとしたスペースさえあれば、一人で練習できる。

環境に恵まれない多くの人たちは、場所(体育館のコート)相手がない、ということを考えて、つい練習を断念しがちだ。だから、実のところ「いや、そうではない。一人でできることが多い」という話をするはずだった。

一人でなにができるのか。こう疑問に思う人もいるだろう。だが、ものはすべて考えようである。もちろん、ラケットとシャトルがなければ話にならないが、そのほかにヒモ一本、幅が1尺ぐらいの空地でも、やれることはあるのだ。次回はそれについて述べよう。

断わっておくが、この入門編は、当分の間、お金も場所もなるべくいらない方法ということで筆を進めていくつもりだ。

だから、用具も初めのうちは一式千円以下の安いラケットのセットでいいし、シャトルはナイロン製けっこう。体育館がなければ部屋の中、部屋もせまい、というなら、ネコのひたいぐらいの空地を利用しよう。

バドミントンに打ち込む三姉妹

◇〝カゲの力〟父親がしたためた手記◇

うれしい共通の場，健康な人間への成長

北から南から

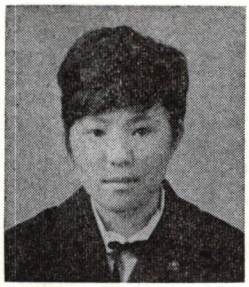
北海道でバドに打ち込む三人姉妹がいる、と聞き、育ての親帯広大谷高・森田精一先生をわずらわし、その父である小山田慶吉氏から〝喜びも悲しみも幾年月〟の手記をいただいた。淡々と語る文章の中に、にじみ出る愛情をかみしめたい。

×　×　×

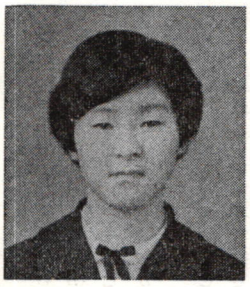
今度、三女の芳子が全国高校選手権大会への出場が決まり、親として正直なところ、うれしさで一杯です。思えば、これまでも40年度長女順子が岐阜国体へ、43年度次女いく子が高校選手権（広島）へと、お陰様で駒を進めてまいりました。

三人姉妹がバドミントンという同じ競技で、それぞれ全道の代表として、全国大会出場という名誉をいただいたこと、関係の皆様方に感謝の言葉もございません。

長女は帯広大谷高校へ進学してから競技生活に入りましたがその影響から、次女は中学三年から、三女は中学入学時からバドミントンに親しんでまいりました。



小山田順子（長女）



小山田いく子（次女）



小山田芳子（三女）

下に行くほど、早く競技に入ったのも、姉の力があったのは確かだと思います。技術的なことは親として全くアドバイスすることは出来ず、これまでそれぞれ成長できたのは、すべて中学・高校で指導下さいました先生をはじめ、先輩各位のお陰と存じております。

特に大谷高校の前顧問・横山先生、現顧問・森田先生には一方ならぬお世話になり、心より感謝致しております。

長女から通算すると、我が家とバドミントンとは、もう八年ほどのつき合いとなります。ふりかえってみますと、色々なことがありました。父親の私はともかくとしても、母親が一番気をつかっておりますのは、なんといっても、健康管理のようです。

土曜も日曜もない練習、つかれきった身体、それについて行けるコンデション作りの食事には、なにかと頭を悩ましておりました。

それぞれに好き嫌いもありますし、朝寝坊しては朝食を抜きにしたがるのを、しかったり、また「小山田は足が弱い」と聞けばカルシウムの多い料理をと考えたり、やはり、食べ物の苦労が一番あったようです。

また練習時間の関係で帰宅が遅くれれば、女の子ということもあり、夜道を途中まで迎えに行ったり、親としては当然のことでしょうが、三人ともなれば長い年月でした。

こうした苦労も、子供がこの競技を通じ、身心とも健康な人間へと成長し、それぞれ「自分が最善のプレーが出来ることは周囲の人のお陰」と子供達が語ってくれる〝人間としての成長〟で「充分報いられている」と、家内ともども語り合っております。

どの子供も、親が見に来るとやりにくいから、とがうので、実は私は一度もプレーを見ておりません。

母親は地は地区予選大会をこっそり見に行ったこともありましたが、とても観戦できない、と途中で帰ってきてしまいました。子供が帰宅してから話を聞くのが、一番安心して落着くものです。

長女も次女も、帯広市スポーツ奨励賞致しました。二人の姉がいただいものは、末の三女にも是非受賞させたいと念願しておりますが、二年生の今年、全国大会に進出したことにより今後一層精進させ、この夢を実現させたいと思っております。

毎月の練習につかれながらも学校の成績を気にしての勉強、親として見るにしのびがたい点もありましたが、姉妹が互いに助け合い、同じ競技で同じ体験をし、楽しく話し合っているようすを見ていると「これでよかった」と、やはりうれしい気持で一杯になります。

今度の大会には、次女も同行させます。東京にとついだ長女も行くと思います。これがそれぞれの子供の、これからの人生の糧となり、姉妹の強いきずなとなればなによりです。

戦争という、当時の国情などで、親が果せなかった夢を、子供が果してくれたこと、親としてこんなうれしいことはありま

せん。

三人を育ててくれた帯広大谷高校の先生、また応援して下さった生徒さんの友情、三人とも忘れてはおりません。

自分のことのようにご指導応援下さった協会の方々、多くの人達のお蔭で、私達は親も子もほんとうによかったという楽しさを味わいました。

また、もしこれが、三人の姉妹みんなが全国大会出場という今日のような結果になっていなくても、同じ気持になったと思います。

共通の事柄で、七年も八年も家族が語り合えたのですから、これにこした楽しさはありません。関係の皆様方に重ねてお礼を申し上げます。

小山田慶吉

幅広い市民活動を展開

天理市体協バドミントン部 発足二年、月刊機関誌も発行


創刊号 天理スマッシュ 1970.3.31

奈良県天理市体育協会のバドミントン部運営委員長・西野勇さんから、ぼう大な資料とともに、便りがとどいた。

同市は天理大学などを中心にスポーツの町として非常に有名なところ。バドミントン部が生まれたのは昨年四月。以来、市民体育向上発展のトップ・バッターとして、幅広い活動をくりひろげている。

昨今、社会体育の振興ということがしまりに叫ばれているが多くの人は、その必要性はわかっても、では、どうやって一つのクラブを組織したらいいか頭さなやましていることだろう。そうした一つの例として、天理の活動が参考になれば、幸いである。

× × ×

バドミントン部は、市民体育館の完成と同時にスタートした。組織的には市体協の一環として、教育委員会の管轄下におかれている。しかし、費用の点では市からなんの援助もあるわけではないので、部員から月に百円、三カ月単位で集めているが、なんといっても、シャトル代が高いことが悩みのタネだ。

発足当初、部員は百二十名余もおり、つねに四十人近くが練習に参加した。しかし、個人の集まりであるため、ヨコの連絡がとりにくく、これを解決するため、運営委員会を設け、各グループごとに幹事を決め、規約をつくって運営、連絡にあたった。

また、部員であることをはっきりさせるため、部員証が発行されており、部費を納めないと資格を失なう仕組み。

練習は市の山の辺体育館。原別として毎週水曜の夜六時半から三時間、ほかに月一回は日曜をフルに利用できる。

とにかく未経験者が圧倒的に多いので、経験者には犠牲をはらってもらい、入門指導者の役目を引き受けてもらった。現在は、技術段階に応じ、A、B、Cの三ブロックに分け、練習を進めている。

部員相互の親睦と理解が普及発展の近道でもあるので、ハイキング、キャンプ活動などもさかんにし、年度はじめには新入部員歓迎会を開く。

昨年度総会資料によると★44年5月＝部発足、登録者百十九人★6月＝第一回運営委★7月＝部員証作成★8月＝市民ソフトボール大会参加（一回戦で敗退？）★9月＝青年体育祭参加（Aチーム2位、Bチーム3位）同＝国体近畿予選参加★10月＝市民体育祭に大多数が出場、上位独占★11月＝島ケ原キャンプ場懇親会★1月＝新年パーティ★3月＝総会…

本年は懇親会予定も3回にふえ、クラス別部内対抗も行なわれた。年度はじめには、町ごとに部員が入部の勧誘活動にとびまわった。

今後は①小学校への普及指導②他市への市民運動の呼びかけをやりたいという希望。

これらの活動の中心として、写真のようなガリ版刷り月刊機関誌「天理スマッシュ」がある。ニュース、お知らせのほか、技術コーナー、関係者の投稿、小話欄など、盛りだくさん。本誌バド界よりも内容が濃いとおもわれるほどだ。

（西野　勇）

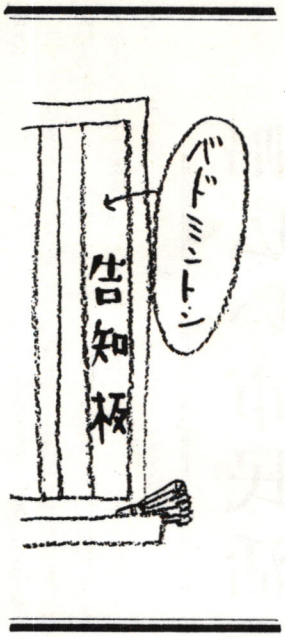
北から南から



次期ユ杯も日本開催可能

来日のチャダ氏が協力を約す

世界サーキットにも強い関心抱く



アジア連盟（ＡＢＣ）の会長で、国際連盟（ＩＢＦ）の役員でもあるチャダ氏（インド）が八月中旬来日、日本協会幹部と懇談した。

同氏は七月のＩＢＦ総会に出席したが、そのとき、昨年六月に日本が開かれたユーバー杯については、ＩＦＦが日本の運営能力を非常に高く評価、しかも入場者、入場収入が歴代の最高を記録したとして、絶讃したことを伝えた。

そして、次回のユーバー杯（七二年）は規則によるとカップ保持国の日本では開催できないことになっているが、以上のような情勢からＩＢＦ側では、内心、日本での再度開催を歓迎したい意向がある。地元での開催はチャンピオン国日本にとっても歓迎すべきことと思われるので、自分としては、ＩＢＦを日本にこのことを呼びかけるよう、打診、仲介の労をとってもよいと述べた。

また、バドミントン競技のオリンピックへの参加、その前提として、ミュンヘン五輪大会での〝デモンストレーション〟の実施は、ＩＢＦの会議で議題として討議の上、西独バドミントン協会の強力な働きかけがあれば、実現の可能性が残されている、との見解を明らかにした。

このほか、十二月のアジア大会には、ト杯でインドネシア×タイが紛争したこともあり、各国とも余分の審判を送って、必ず試合ごとに〝中立審判〟を置くようにすることが望ましい。



▲大いに語るチャダ氏（右）

そのため、どうすればいいか、早急に考えたい、と語った。

また席上、チャダ氏は、

①このところ中断しているアジア選手権の開催を、日本が近い将来、引き受けてはどうか。同大会は、規約があいまいであり、引き受ける場合は、日本が条件を自分でつくってけっこうだと思う。

②インドは年末に世界のトップ級だけ名集め、国際トーナメントを開くので、日本選手の参加を考慮してほしい。

③日本は来春から〝世界サーキット〟を考えているというが非常にいいアイデアなので、ぜひ実現するよう、アジア大会のときの総会で、アジア各国に協力を呼びかけてはどうか、とのべた。この第三番目の問題はデンマーク↓全英↓全米↓カナダと続く、毎春のトーナメントの流れを日本にも持ってきて、日本で国際大会を開くというのが日本側の考え方。これに対してチャダ氏は、もし、国際トーナメントを日本でもやるなら、折角の議会だから、東南アジアの中でバドミントンの盛んな国にも呼びかけて、あと二、三カ所で大会をやったらどうか、との意見。

もし、これが実現すれば、世界のスポーツ界でも初の〝世界巡回戦〟となるので、大いに期待されている。

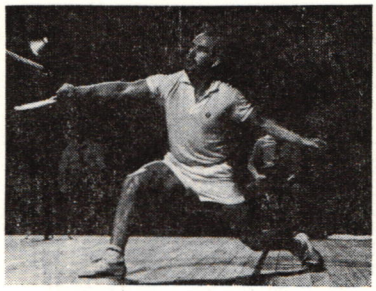
人事

青木氏が近畿ブロックの理事に

日本協会の近畿代表ブロック理事に、青木昭二氏（大阪府協会理事長、府立茨木工教が）新任された。

〝エリート〟コプス選手が来日

小島らと全国八カ所で対戦



バドミントンの〝エリート〟といわれる、エルランド・コプス選手（デンマーク）が来日、九月中旬から全国八カ所で国際親善試合を行なう。これはヨネヤマ・ラケットの招待（コプスは同社のデンマーク総販売代理店重役）によるもの。

コプス選手は三十三歳。一九五八年から六七年の間に全英選手権のシングルスに七度、六七年から六九年に同ダブルスで三連勝という不滅の記録を持っており、歴代でも一、二を争う世界的名プレーヤー。

車長1㍍77、体重75㌔、年齢を感じさせぬスタミナ、欧州随一といわれる多彩なテクニックは、日本のファンに多大の感銘を与えそうだ。

日本側からはヨネヤマの小島一平（全日本4連勝）と梅野尾昌一（ト杯代表、全日本複2位）の二人のほか、各地での代表選手が数人出場する。

日程はつぎのとおり。

★　★　★

▼9月19日＝横浜公園体育館（18時）▼20日＝仙台レジャーセンター（14時）▼21日＝札幌・北海高体育館（17時予定）▼23日＝松山市・松山商高体育館）16時予定）▼24日＝長崎市・国際体育館（16時）▼25日＝熊本市・熊本商大体育館（18時）▼26日＝金沢市・二水高体育館（16時）▼28日＝長岡市・厚生会館（17時）

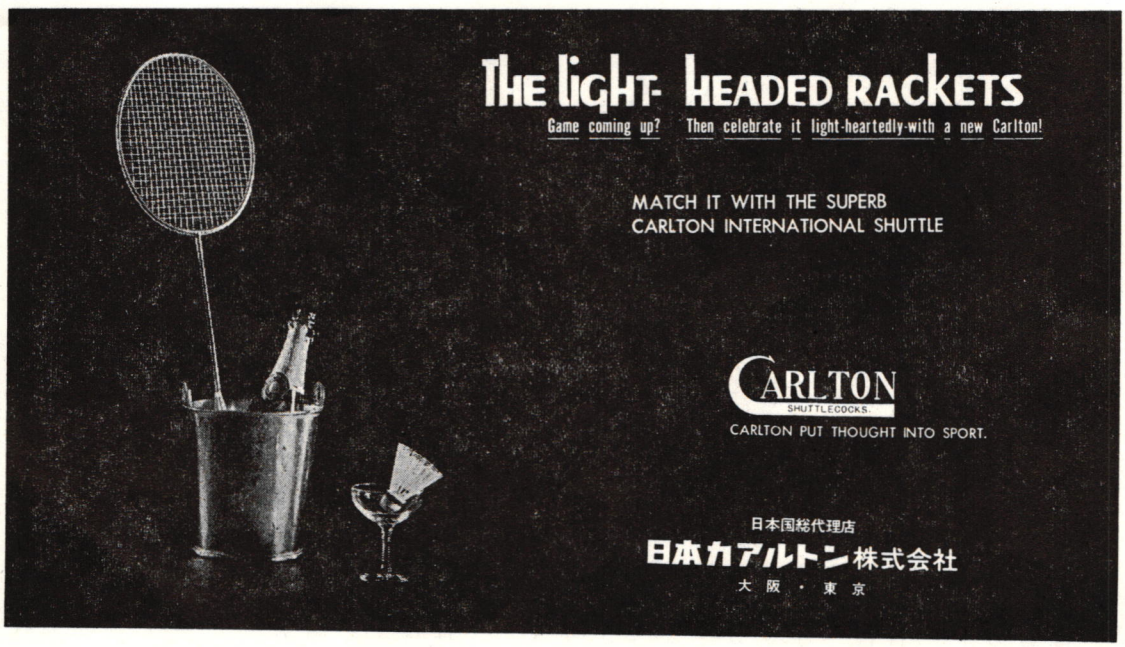
ア大会の代表選考会

出場資格者決まる

アジア大会の代表（男女各四人）を選考する競技会は、九月の十四、十五の両日、東京・台東体育館で行なわれるが、この大会の出場資格者が、次のように決まった。

▼男子＝小島一平、堺栄一、鈴木健二、西野一征、秋山真男、梅野尾昌一、森芳夫、工藤勇参、坂本聖二、本間順次、池田信孝、今泉勉、杉山修、岩不一雄、尾崎幹雄、谷口寛、鷲尾正一（複のみ＝河田満）＝以上十八名

▼女子＝湯木博江、竹中悦子、相沢マチ子、高木紀子、天野博江、高橋とも子、後藤和子、太田節子、本間恵美子、浦口恵子、池田栄子、高坂薫、小片千恵子、石崎喜代子、堀川栄美子、柴山きよ子、石崎茂子、高崎弘子、岡崎幸子、陣内裕子、秋本八代美、西尾真理子、佐伯智子（複のみ＝篠山和江、水野小夜子）＝以上二十五名



早わかり競技規則
ルール100問？

連載⑪

日本教職員連盟
審判部監修

問55　13オールのときに、セッティングする権利のあるサイドがセッティングを申し出なかったとします。

その後、そのサイドが先に14点を取り、続いて対手も14点になった場合、こんどはセッティングできるのですか。

答　できます。最初の機会にセッティングの権利を放棄しても、次の機会には、したければセッティングしてかまわないのです。

ただし、この「次の機会」というのは、9オールの次の10オールのときとか、13オールの次の14オールのときのことをさすのです。

同じ13オールなら13オールのままで、サービス権が一巡して再び対手にサービス権が移ったからといって、セッティングを要求することはできません。

問56　念のためにうかがいますが、セッティングの結果、あと3点とか5点にするとき、両サイドとも完全に同意した場合でも、2点とか4点にしてもらえないんでしょうか。

答　それは、正式の試合では、できません。きめられた点数にセットするか、全然セットしないかのどちらかです。

問57　「チェンジ・エンド」はどんな場合にするんですか。

答　第一ゲームのエンドはトスできめるのでしたね。さて、その後は、第二ゲームと第三ゲームの初めにエンドをかえます。

第一ゲームと第二ゲームの終りにかえるといつもよさそうですが、規則書通りにいった方が正しいですね。

次に、第三ゲームが行なわれた際には、勝っているサイドが次の点に達した場合に、もう一度エンドをかえます。

15点ゲームのときには　8点
11点ゲームのときには　6点

要するに、一方がゲームに勝つに必要な全点数の半数を取ったときに、エンドをかえるのです。

例えば、11点ゲームの場合、5点では11点の半数にはなりませんが、6点取れば半数をすでに得たことになりますから、ここでかえるのです。

以上、お話ししたことから、ゲーム・カウントがストレートの場合は一回チェンジ・エンドをし、フル・ゲームの試合になった場合は三回行なうことになりますね。

しっかりおぼえよう
複雑なダブルス サービスの順序

問58　うっかりして、エンドをかえるのを忘れたときは、どうしたらいいんですか。

答　気が付いたときに直ちにエンドをかえ、スコアーはそのままとします。第三ゲームの途中のチェンジ・エンドはよく忘れることがありますね。

8・サービス
（規則第9～13条）

問59　ダブルスのサービスの順序をわかりやすく教えて下さい。

答　競技規則書を読んだだけでわかりにくいかも知れませんね。実際にプレーしながらですと何でもなく覚えられます。そして一度のみこんでしまえば、実に簡単なのです。では、実際に試合をしている情景を頭に描きながら、お話を進めましょう。

まず、A・B組とC・D組がダブルスをするとします。トスの結果A・B組がインサイドとなりました。つまり、A・B組が最初のサービス権を得たわけです。

ここで、A・Bのうちだれが先きにサービスするか、C・Dのうちだれが先きにサービスを受けるかをハッキリしておくことが最も大切です。

主審も、採点簿のプレーヤー名のところへ、各ゲームの最初のサーバーとレシーバーに印をつけておいて、後で間違えないように注意するくらいです。

インサイドのA・B組ではAが先きにサービスをし、アウトサイドのC・D組ではCが先きにレシーブするとしましょう。

Aは自分のエンドの右のサービス・コートの中から対手のエンドの向って左側のサービス・コートにサービスをします。

Cはこのサービスを受けるために、自分のエンドのサービス・コートに入ります。自分から見れば右側のサービス・コートになるわけですね。サービスは常に対角線上になされなければなりません。

この際、AとCのパートナーであるBとDは、必ずしも、AとCが入っているサービス・コートの隣りのサービス・コートの中にいなくてもよろしいのです。

Aのサービスで始まったラリーの終りに、インサイドのA・B組が負けたときは、直ちに「サービス・オーバー」つまり対手側へサービス権が移りますが、A・B組が勝ったときには、次のサービスもAが引き続いて行ないます。

ただし、こんどは左側のサービス・コートから、対角線上の対手のサービス・コートへ打ちこみ、これはDが受けなければなりません。

つまり、インサイドが勝っている間は、同じサーバーが続けてサービスをするのですが、交互に右左のサービス・コートから行ない、アウトサイドの二人のプレーヤーは交互に、それぞれのサービス・コートで、レシーブします。

この際、インサイドの得点は1点ずつふえて行きます。

A・B側が負けると、直ちにサービス・オーバーとなってC・D組にサービス権が移ると先程申しましたが、このとき、最後のサービスが、どのプレーヤーによってどちらのサービス・コートからなされたかを、しっかり覚えていなくてはなりません。

もしAが右側のサービス・コートからサーブして、そのラリーの終りにA・B組が負けたのでしたら、サービス・オーバー後、Aは右側、Bは左側のサービス・コートで対手のサービスを受けます。

反対に、Aが左側からサーブして負けたのでしたら、こんどはAが左側、Bが右側のサービス・コートでレシーブをするのです。

さて、サービス権を取り、インサイドとなったC・D組は、最初に自分のエンドの右側のサービス・コートでレシーブしたのであったCが、右側からサービスをします。

C・D組はこんどはインサイドですから、自分達が勝っている間はCが引き続きサービスをします。ただし、一回毎に違うサービス・コートからサーブすることは前にお話した通りです。

C・D組が負けたとき、こんどは直ちに「サービス・オーバー」でなく、「セカンド・サーバー」となり、Cのパートナーのサービス権が与えられます。

DはCの最後のサービス・コートの隣りのサービス・コートからサービスをします。

例えば、Cが最後に右側のサービス・コートからサーブして、そのラリーにC・D組が負けたときは、Dは左側のサービス・コートからサービスをし、Cが左側からサービスをして負けたのでしたら、Dは右側から自分のサービスを始めます。

Dのサービスで C・D組が負けたときに「サービス・オーバー」となりますが、この際も、Dの最後のサービスが右からであったか左からであったかをよく覚えておいて、それによって次のレシーブの順序を間違えないようにすることは、前と同様です。

ゲームの最初のサービス権を得、インサイドとなったA・B組の最初のサービスは一人だけがやりましたが、二回目にA・B組がインサイドとなってからはC・D組と同じ要領で二人がサービスをして負けてから「サービス・オーバー」となります。

そして「セカンド・サーバー」「サービス・オーバー」と繰り返して、どちらかのサイドが15点取るまで続けられます。

勿論「セカンド・サーバー」や「サービス・オーバー」になるときには得点は進みません。

つまり、最初のイニングだけ一人、第二イニングからは二人ずつサービスをするわけです。また、各イニングの最初のサービスは、必ず左側のサービス・コートからしなければなりません。

★ ★ ★ ★

「ルール100問」の原本である「バドミントン・ハンドブック」の第一編＝競技規則100問集（NBA現行競技規則つき）を発売中です。

◉申し込み＝東京都練馬区旭ケ丘一ノ五一（〒176）日本教職員バドミントン連盟・前田耕作あて

◉代金払い込み＝三菱銀行江古田支店、日本教職員バドミントン連盟・前田耕作あて



まだまだお寒い〝底辺〟組織

全国のアンケート調査

低い中学生以下への普及度

地域クラブ、講習会も未発進

回答は28府県

小、中学生へのバドミントンの普及は、まだまだ――日本協会の指導委員会（伊藤基記委員長）は、さる六月下旬、全国都道府県に対し、少年少女の競技普及情況を調べるため、アンケート調査を実施した。

これに別表のような二十八の府県が回答した。結果として①府県によって普及状態に格差がある ②高校ではかなり普及しているが、中学でクラブがあるところは少なく、小学校ではマレ ③市町村など地域社会で少年少女のためのクラブや教室も少なく、講習会などもきわめてわずかである――ことがわかった。

バドミントンの愛好者は、ひと口に、全国で三十万人とか百万人とかいわれているが、この結果から推定すると、普及度が必ずしも高いとは公言できず、むしろ、未組織状態の方が目立つ。これは協会自体の弱体（組織、資金、人）中体連、高体連や教育委員会、地区体育協会、都道府県といった、関連団体との協力関係が密接でない、などが原因と思われる。

これを裏返せば、日本のバドミントンは、一部の熱心な指導者の努力によって、世界一流のレベルを保っている、ということである。

皮肉ないい方だが、回答のあったのが、四十七都道府県のうち二十八という事実自体が、この〝現状〟を裏書きしている。

①学校での普及状態

【高校】クラブを持った学校が多いのは、新潟、大阪、神奈川（残念ながら東京が不明）などだが、総学校数との比較で考えると、そう高い普及度とはいえない。たとえば新潟の回答によると、県下の高校数は98、うちバドミントンのクラブ（部）があるのは58校（ほかに同好会が3校）、率は約6割である。

しかも回答のあった二十八府県のうち十九府県は30校未満。

また、これを学校の授業との関係でみると「授業の課目のなかにバドミントンがふくまれている学校」の数は、ほとんどの県で「クラブのある学校」の数より少い、という珍現象が目立つ。これは何を意味するのか。

【中学】高校より、さらにクラブのある学校が少ない。高校より中学の方の数が多いところは香川、岩手、奈良、長崎、滋賀、大阪。授業の中でとり入れている学校はさらに少ない。

さらに注目されるのは、実態そのものについて（？）が多いこと。これまで中学生の全国大会がない、協会登録がない、などのため、県協会段階では実態を把握できなかった（或いはしなかった）のが原因だろう。

モトがわからないでは、普及の手段もあいまいになり、努力ができないのも当然だ。

いずれにしろ、いきなり高校の三年間で一流選手が育てられるわけはない。中学への普及度が低いことは、日本のバドミントンの将来にとって、ゆゆしき一大事といえよう。

【小学校】別表を見ればレキ然としている。コメントする必要がないほど。小学校時代には、必ずしもバドミントンそのものをやらせる必要はない、ということは、伊藤指導委員長も力説している。

しかし、この時代に、いわゆるラケット遊びに楽しませられるかどうかは、やはり将来の普及に大きな影響を与える。

②地域での活動状態

スポーツは、学校でだけやるものではない。町や村の体育館、公民館などにクラブや教室があれば、そこで楽しむことができる。また、初心者を教える場があれば、学校でもクラブにはいろうという意欲も生まれてくるだろう。

しかし、現実に、こうした社会体育のかたちでバドミントンが行なわれている地域はごく少ない。県としてはやっていても地域的に限られた市町村だけという例も多かった。

深刻な地方の悩み

シャトルと指導者の不足

さて、町や村での普及には、協会役員だけがいくらがんばってもダメで、やはり先生方や教育委員会、市町村当局との協力が必要だ。

これらの関係がどうなっているか。アンケートからみると、関連団体が、どの程度協力的かという質問に対し

①積極的―新潟、福島、神奈川、青森、大阪（地域による）

のわずか5府県。これらの府県は、いずれも高校、中学での普及も日本ではAクラスの地区である。やはり、競技が盛んだという実績がモノをいっているらしい。その他は

②普通14県、③消極的8県、④傍観的1県（徳島）――となっており、地方自治体や教育団体の間に、まだまだ、バドミントンが認識されていないことを

少年少女の普及状況アンケート

	クラブのある学校 高校	中学	小学校	数地域の活動 クラブ・教室	講習会
香川	20 (10)	31 (18)	4	2	ある
鳥取	10 (10)	7 (10)	0	10市町村	なし
岩手	30 (?)	50 (?)	?	なし	計画中
栃木	22 (22)	11 (11)	0	ほとんどない	なし
三重	22 (?)	5 (?)	?	なし	主要都市で
熊本	20 (25)	10 (10)	6	5市町で	ある
茨城	16 (40)	5 (10)	?	なし	本年度から
兵庫	31 (0)	17 (0)	3	なし	神戸で
福井	17 (0)	16 (0)	?	4市で	4市で
奈良	17 (1)	18 (1)	1	なし	なし
新潟	58 (?)	49 (?)	0	調査中	中学生だけ
和歌山	9 (9)	1 (1)	0	なし	教室の形で
福島	35 (?)	?	?	なし	あり
長崎	28 (?)	38 (?)	0	ある	ある
長野	30 (?)	?	?	なし	ある
滋賀	23 (18)	38 (?)	?	数市町村で	検討中
大阪	65 (?)	70 (?)	?	府下⅓位	左同
群馬	40 (20)	25 (?)	?	これから	今年から
秋田	17 (?)	?	0	?	なし
徳島	11 (0)	9 (0)	0	なし	ある
広島	4 (?)	0 (3)	0	なし	なし
山梨	15 (0)	0	0	なし	ある
愛媛	8 (5)	1 (?)	0	なし	なし
千葉	20 (26)	2 (?)	0	スポ少5	なし
福岡	20 (?)	0	?	数は不明	最近はなし
山口	15 (0)	3 (0)	0	一市で親子	なし
神奈川	71 (?)	30 (?)	?	ある	ある
青森	41 (55)	1 (11)	0	なし	ある

(注) () 内の数字は授業にバドミントンのある学校数

示している。

③地方の悩み

以上のほかに、各府県は、数多くの、普及のための悩みや問題をかかえている。

一番多いのが、シャトルが高く、入手難ということ。「シャトルが高価である間は普及はのぞめない。ナイロン製の使用を考えよ」の意見も強かった。

ついで施設（体育館）。学校開放の推進が望まれる。また、指導者（教師）の不足も深刻であり、関連して指導者公認制度の確立を要望する声もあった。

その他、テキストの確立、講習会開催、8ミリの活用など、当然、日本協会が考えるべきテーマも多い。日本協会がこのアンケートの結果を、今後の施設に強力に反映するよう、のぞんでやまない。

あちらの雑誌　（マレーシア）

〝ベリタ〟バドミントン

さすがはコーチ用

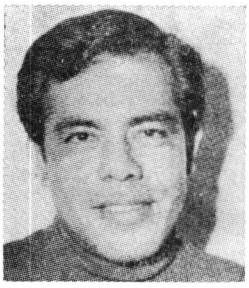
メニューからトレーニング法まで豊富


BERITA BADMINTON
BADMINTON ASSOCIATION OF MALAYSIA COACHES' PANEL
NEWSLETTER
No. 2. 1970　PERCHUMA　KDN 4752
"... pendapat yang di-lahirkan oleh penulis tidak sa-mestinya berma'ana pendapat Persatuan Badminton Malaysia." — Pengarang
"... whatever views expressed by the writers do not necessarily mean that those are the views of the Badminton Association of Malaysia." — Editor
Apa Kata Pengarang
CONTENTS

ここに紹介するのはマレーシア・バドミントン協会発行の機関誌。コーチ協会のためのテキストという副題がついており、つまりは指導者版。

写真のものは本年度の第2号だが、年間何回発行か、というようなことはわからない。

この号の主な内容は①選手のための献立②サーキット・トレーニングの一例③体力テストのやり方④ト杯選手の紹介――など。表紙をふくめ11ページ建てだが大半は原地語で書かれている。


ウン・ブン・ビー

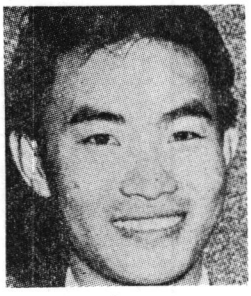
マレーシアは過去四回、ト杯を獲得しており、インドネシアと並ぶ男子の世界的強豪。日本の読者に、これらの選手のことを知ってもらうため、今回は、簡単な経歴を紹介しよう。

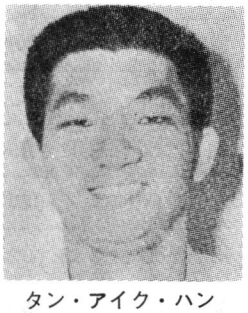
▼ウン・ブン・ビー（33歳）165㌢、57年全マレーシア複、58年同単1位、63―69年シンガポール・オープン複1位、62、65年アジア大会複1位、61―68年の間6度マレーシア複1位、65、66年全英、65―67年全デンマークの複1位、60年以来、連続ト杯代表、68年度マレーシアの最優秀スポーツ選手賞受賞


ユー・チェン・ホー

▼タン・イー・カン（30歳）178㌢、63―68年までのうち5度シンガポール・オープン複1位、64年国際招待（東京）単1位、65、66年全英複1位、65―67年全デンマーク複1位、62、65年アジア大会複1位、61―68年の間、6度全マレーシア複1位

▼タン・アイク・ハン（24歳）178㌢、63年以来、ト杯代表。66年IBF選定の年間最優秀選手、65、66、68年マレーシア・オープン、66年全英、全米、カナダ、スウェーデンの各単1位、67年マレーシアの年間最優秀スポーツ選手賞受賞

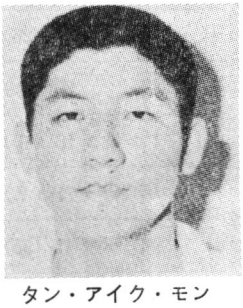

タン・イー・カン


タン・アイク・ハン

▼ユー・チェン・ホー（26歳）176㌢、64年以来、ト杯代表。64年シンガポール・オープン、マレーシア単1位、66年シンガポール・オープン単複1位

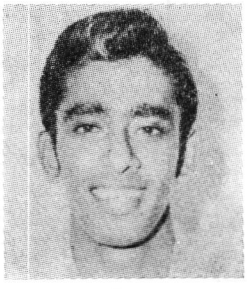
▼P・グナラン（26歳）176㌢、69年アジア選手権（マニラ）複1位、単2位、全米複1位、69年ナショナル選手権単複1位、70年ト杯代表

▼タン・アイク・モン（20歳）182㌢、66、67年少年単複1位、67年ト杯候補、68年国際学生1位、69年アジア選手権代表、70年ト杯代表。タン・アイク・ハンの弟


タン・アイク・モン

▼A・R・ビン・モハマド（24歳）169㌢、66年ト杯チーム補欠、69年アジア選手権代表、70年ト杯代表

▼N・T・ワイ（23歳）169㌢、62年15歳以下選手権単複1位、68年対タイ、インド、シンガポール国際試合代表、69年ブラク州オープン複1位、70年ト杯代表


P・グラナン

▼タン・ソー・ホイ（27歳）169㌢、60年マラヤ少年単複1位、63年ペナン州オープン複1位、68年対タイ国際試合代表、70年ト杯代表


TOKYO gas
G
東京瓦斯株式会社
東京都中央区八重洲1の3
電話(273)0111(大代表)

☒全国高校選手権（7月27日―8月2日）

【個人戦】

■男子シングルス

▼三回戦＝山口（札幌工業）2―1田島（県立明善）、小林（桐生市立商業）2―0竹野（県立新潟商業）、銭谷（県立大聖寺）2―0成沢（県立日川）、大東（瓊浦）2―0山本（洛星）、巽（正強）2―0柏木（県立境港工業）、長島（県立富士）2―1蛸井（帯広農業）
松島（県立南山商業）2―0高橋（専修大学北上）、市村（日大鶴ケ丘）2―1牧田（福井）、西村（県立富山商業）2―0壁館（洛星）、井出（県立富士宮北）2―1青木（県立会津工業）、折井（関東学院六浦）2―0岸野（県立新宮商業）、加藤（名古屋電気工業）2―0佐藤（瓊浦）、日下（高松第一）2―0渡辺（岐阜東）、飯野（県立三条商業）2―0荒木（甲南）、金田（天理）2―0須見（県立石橋）、中村（名古屋電気工業）2―0橋本（日大山形）

▼四回戦＝山口2―0小林、銭谷2―0大東、巽2―0長島、市村2―1松島、西村2―0井出、加藤2―1折井、飯野2―1日下、金田2―1中村

▼準々決勝

銭谷	2	15―4	0	山口			
市村	2	15―12	0	巽			
西村	2	15―6	0	加藤			
金田	2	9―15 9―9 キケン	0	飯野			

▼準決勝

銭谷	2	15―12 9―15 11―9	1	市村			
西村	2	3―15 15―3 15―2	1	金田			

▼決勝

西村	2	15―6 15―10	0	銭谷			

■男子ダブルス

▼三回戦＝堀口・土田（県立三条商業）2―0大東・佐藤（瓊浦）、阿部・小森（県立青森商業）2―1渡辺・竹市（岐阜東）、森田・松島（県立富山商業）2―0橋本・今井（日大山形）、高橋・阿部（専修大学北上）2―1山口・藤木（札幌工業）
小林・井崎（県立伊勢工業）2―0折井・村島（関東学院六浦）、工土・坂本（九州学院）2―1小林・藤田（桐生市立商業）、中村・阿部（名古屋電気工業）2―0能登・山崎（県立浦和西）、巽・西川（正強）2―0青木・渡部（県立会津工業）、加藤・菱田（名古屋電気工業）2―0荒木・平田（甲南）
青山・竹村（金沢市立工業）2―0大島・田中（作新学院）、小原・市川（県立宮城工業）2―1市村・関谷（日大鶴ケ丘）、日下・曽根（高松第一）2―0櫃木・西村（市立一条）、斉藤・佐藤（東興義塾）2―1浜田・樗木（県立熊本）
牧田・中山（福井）2―0佐々木・松原（東山）、内田・横関（県立平塚商業）2―1脇田・井川（岐阜東）、山田、竹野（県立新潟商業）2―0小林・福沢（伊那北）

▼四回戦＝堀口・土田2―0阿部・小林、森田・松島2―0高橋・阿部、工士・坂本2―1小林・井崎、巽・西川2―0中村・阿部、青山・竹村2―0加藤・菱田、日下・曽根2―1小原・市川、牧田・中山2―0斉藤・佐藤、山田・竹野2―0内田・横関

▼準々決勝

森田島	2	9―15 15―11 12―11	1	堀上田口			
巽川	2	15―11 6―11	0	工坂本士			
日下曽根	2	15―9 15―9	0	青竹村山			
山田野	2	15―1 15―2	0	牧中山田			

▼準決勝

森田島	2	15―12 15―6	0	巽西川			
山田野	2	15―8 15―5	0	日下曽根			

▼決勝

森田島	2	15―10 11―15 15―12	1	堀上田口			

■女子シングルス

▼三回戦＝陣内（成安女子）2―0長谷川（桐朋女子）、仁藤（県立吉原）2―0秋山（平塚商業）、伊藤（昭和学院）2―0福田（県立明善）、森田（富田女子）2―0宮本（新潟青陵）、今川（札幌静修）2―0宇都宮（県立小松島）、藤井（県立真岡女子）2―0山脇（県立彦根西）、西尾（四条畷学園）2―0山本（県立上市）
古谷（市立一条）2―0石田（山陽女子）、秋本八（四条畷学園）2―0伏見（県立平商業）、鈴木（県立石岡第二）2―0剛迫（山陽女子）、岡崎（成安女子）2―0山森（藤園女子）、矢口（県立新庄南）2―0外崎（弘前学院聖愛）、小林（県立真岡女子）2―0三浦（県立津幡）、宮田（市立長崎商業）2―0原（松江家政）、我妻（県立塩釜女子）2―0田付（県立彦根西）、佐伯（立一条）2―0高橋（敬愛学園）

▼四回戦＝陣内2―0仁藤、森田2―0今川、西尾2―0古谷、秋本八2―0鈴木、岡崎2―1矢口、宮田2―0小林、佐伯2―0我妻

▼準々決勝

陣内	2	11―3 11―0	0	森田			
西尾	2	11―0 12―10	1	藤井			
秋本八	2	11―7 11―9	1	岡崎			
佐伯	2	11―1 11―6	0	宮田			

▼準決勝

陣内	2	11―8 11―9	1	西尾			
秋本八	2	11―12 11―5	0	佐伯			

▼決勝

陣内	2	11―12 11―4	0	秋本八			

■女子ダブルス

▼第三回戦＝岡崎・陣内（成安女子）2―0岡田・原（松江家政）、柴田・高橋（敬愛学園）2―1入倉・望月（県立甲府第二）、野島・高橋（県立三条東）2―0平野・仁藤（県立吉原）、藤井・小林（県立真岡女子）2―0菅野・有田（札幌北斗）、清水・矢口（県立新庄南）2―1田所・造田（県立善通寺第一）
佐古・秋本章（四条畷学園）2―1作山・千葉（県立平商）、堀・銘木（高蔵女子商）2―0小野山・田島（土佐女子）、松田・石田（県立金沢二水）2―0焼田・田宮（市立一条）、川東・森（県立善通寺第一）2―0佐藤・森下（県立掛川東）、宮本・高橋（新潟青陵）2―1大貫・池田（県立真岡女子）
石田・吉田（山陽女子）2―1椎沢・菅野（尚絅女子）、谷・尾崎（成安女子）2―0伏見・助川（県立平商）、秋本八・西尾（四条畷学園）2―0宮本・斉藤（市立長崎商）、阿部・佐藤（県立羽後）2―0小田・野仲（市立熊本）、木村・高木（県立新庄北）2―0伊藤・及川（昭秋学院）、佐伯・古谷（市立一条）2―0洞口伊藤（県立釜石南）

▼四回戦＝岡崎・陣内2―0柴田・高橋、藤井・小林2―0野島・高橋、清水・矢口2―1佐古・秋本幸、松田・石田2―0堀・銘木、宮本・高橋2―1川東・森、谷・尼崎2―1石田・吉田、秋本八・西尾2―0阿部・佐藤、佐伯・古谷2―0木村・高木

▼準々決勝

陣内・岡崎	2	1515	112	0	小藤・林井
清水・矢口	2	151715	1018	6	1	松石・田田
谷尼・崎	2	151715	1186	1	宮高・橋本
秋本・西八尾	2	1715	154	0	佐古・谷伯

▼準決勝

岡崎・陣内	2	1515	640	0	清水・矢口
秋本・西八尾	2	151511	9115	1	谷尼・崎

▼決勝

岡崎・陣内	2	1515	115	0	秋本・西八尾

【団体戦男子】

▼一回戦

明善（福岡）	3	複	211	1	倉敷工（岡山）
伊那北（長野）	3	単2	0	0	高知商（高知）
		複	111	2	
		単2	1		

▼二回戦

正強（奈良）	3	複	200	0	成田農（千葉）
		単1	0		
東奥義塾青森	3	複	200	0	伊那北（長野）
		単1	0		
名電工（愛知）	3	複	200	0	県日川（山梨）
		単1	0		
県新潟商新潟	3	複	211	1	九州学（熊本）
		単2	0		
県真岡日栃木	3	複	111	2	洛星（京都）
		単2	1		
金沢市工（石川）	3	複	200	0	明善（福岡）
		単1	0		
日和佐（徳島）	3	複	211	2	境港工（鳥取）
		単2	1		
東海（愛知）	3	複	211	2	彦根工（滋賀）
		単2	1		
東京都聖学院	3	複	211	1	茨木工（大阪府）
		単2	0		
県大聖寺（石川）	3	複	200	0	鹿児島（鹿児島）
		単1	0		
新宮商（和歌山）	3	複	211	2	福井（福井）
		単2	1		
松江北（島根）	3	複	200	0	日田林工（大分）
		単1	0		
吉原工（静岡）	3	複	200	0	専大北上（岩手）
		単1	0		
羽幌北海道	3	複	210	1	県浦和西（埼玉）
		単1	0		
甲南（兵庫）	3	複	200	0	松山東（愛媛）
		単1	2		
洛星（京都）	3	複	200	0	県会津工（福島）
		単1	0		
岐阜東（岐阜）	3	複	200	0	市下関商（山口）
		単1	0		
九州（熊本）	3	複	200	0	平塚商（神奈川）
		単1	0		
県日川（山梨）	3	複	200	0	北川工（広島）
		単1	0		

▼三回戦

正強（奈良）	3	1	金沢市工（石川）
竹内・井中	2	125	1515	2	青山・村山
異川・西田	2	1515	911	0	米山・田田
竹内・村	2	1517	1014	0	竹山・田
異	2	1515	37	0	
名古屋電工（愛知）	3	0	東奥義塾（青森）
加藤・菱田	2	1515	27	0	斉藤・佐藤
中村・阿部	2	1515	85	0	対馬・藤部
伊勢工（三重）	3	複	211	1	聖学院（東京）
		単2	0		
東海（愛知）	3	複	200	0	那覇商（沖縄）
		単1	0		
桐生市商群馬	3	複	200	0	日和佐（徳島）
		単1	0		
県大聖寺（石川）	3	複	200	0	県工業（宮城）
		単1	0		
高松第一（香川）	3	複	200	0	県松江北（島根）
		単1	0		
日大山形（山形）	3	複	200	0	新宮商（和歌山）
		単1	0		
瓊浦（長崎）	3	複	211	2	吉原工（静岡）
		単2	1		
富山商（富山）	3	複	200	0	羽幌北海道
		単1	0		
甲南（兵庫）	3	複	211	1	秋田経大附（秋田）
		単2	0		
岐阜東（岐阜）	3	複	200	0	江別（南北海道）
		単1	0		
菱田	2	151315	1051	7	1	斉藤
新潟商（新潟）	3	0	真岡工（栃木）
竹山・野田	2	1515	04	0	榎本・羽石
林井・吉田	2	181515	1398	18	1	舵細・島野
山田	2	1515	101	0	久野
岐阜東（岐阜）	3	0	甲南（兵庫）
脇田・井川	2	1515	54	0	藤横・山沢
渡辺・竹市	2	1815	137	0	荒平・田木
脇田	2	1515	62	0	横山
富山商（富山）	3	1	瓊浦（長島）
森松・田島	2	1515	110	0	伊末・藤吉
西新・村村	2	1313	1815	2	大佐・東藤
松島	2	1515	53	0	山道
西村	2	155	158	157	1	大東
日大山形（山形）	3	0	高松第一（香川）
米山・渋谷	2	5515	710	0	日曽根・下島
今橋・井本	2	1515	510	0	桑岡

RECORD

米山 2 (15 15 6 1 1 1 15) 1 日下 谷木 福服部村 0 (17 12 15 1 8 15) 2 上銭 県伊勢工(三重) 3—2 県大聖寺(石川)

小井崎林 2 (15 15 1 1 8 11) 0 近田 藤畑

福村 0 (6 4 15 1 15) 2 銭谷

井崎 2 (15 15 1 4 9) 0 田畑

小林 2 (15 15 1 4 7) 0 上木

桐生市商(群馬) 3—1 東(愛知)海 藤小林田 2 (15 15 1 8 1) 0 桑横 原井

後大藤川 1 (9 12 15 1 15 15 11) 2 清山 谷田

藤田 2 (15 15 1 3 12) 0 桑原

小林 2 (15 17 15 1 18 11) 1 山田

▼準々決勝

正強(奈良) 3—0 名古屋電工(愛知)

竹内井 2 (15 8 15 1 15 11) 1 菱加 田藤

菱西川 2 (15 15 1 5 4) 0 中阿 部村

竹内 2 (15 18 1 8 17) 0 加 藤

県立新潟商(新潟) 3—0 岐阜東(岐阜)

山竹野田 2 (15 15 1 6 6) 0 異西

林吉井 0 (8 9 15 1 15) 2 中竹 井内

山田 2 (15 15 1 10) 0 異 川

新潟商(新潟) 3—1 正強(奈良)

▼準決勝

小林 2 (15 15 1 12 7) 0 大 川

井崎 2 (15 15 1 7 8) 0 小 林

福村 0 (8 11 15 1 15) 2 藤 田

井小崎林 2 (15 15 1 3 3) 0 後大 藤川

服部村 0 (2 6 15 1 15) 2 藤小 田林

伊勢工(三重) 3—2 桐生市商(群馬)

西村 2 (15 15 1 6 8) 0 橋 本

松島 2 (15 15 1 1 7) 0 今 井

新西村村 1 (15 15 1 15 17 9) 2 今橋 井本

森松島田 2 (5 5 15 1 6 10) 0 渋米 谷山

富山商(富山) 3—1 日大山形(山形)

竹野 2 (15 18 1 11 7) 0 渡 辺

吉林井 2 (15 15 1 15 7) 0 脇井 田川

竹山野田 2 (15 15 1 7 4) 0 竹 辺市

【団体戦女子】

▼一回戦

尚絅女【宮城】 3 (複 2—1 単 1—0) 1 県津幡(石川)

県平商(福島) 3 (複 2—0 単 1—0) 0 県宇治山田(三重)

昭和学院千葉 3 (複 2—0 単 1—0) 0 熊本市熊本

高蔵女商(愛知) 3 (複 1—1 単 2—1) 1 昭和女(大分)

桐朋女(東京) 3 (複 1—1 単 2—0) 1 松江家政(島根)

弘前聖愛青森 3 (複 1—1 単 2—1) 2 留萌(北海道)

西村 2 (15 18 15 1 3 16) 1 山田

松島 2 (15 15 1 8 6) 0 竹野

新西村村 2 (15 15 1 8 5) 0 吉井

森松島田 2 (15 15 1 9 17) 2 竹山 野田

富山商(富山) 3—1 新潟商(新潟)

▼決勢

松島 2 (15 15 1 1 6) 0 福村

新西村村 2 (15 18 15 1 11) 0 井小 崎林

森松島田 2 (15 15 1 7 4) 0 服部村

富山商(富山) 3—0 伊勢工(三重)

林 2 (15 9 18 1 8 15 16) 1 中井

桐生市商(群馬) 3 (複 1—0 単 2—0) 0 県新宮(和歌山)

釜石南(岩手) 3 (複 2—1 単 1—1) 1 石岡第二(茨城)

県福山葦陽(広島) 3 (複 1—0 単 2—1) 1 県諏訪二葉(長野)

彦根西(滋賀) 3 (複 2—0 単 1—0) 0 明善(福岡)

県吉原(静岡) 3 (複 2—1 単 1—0) 1 県平塚商(神奈川)

那覇商(沖縄) 3 (複 1—1 単 2—1) 2 敬愛(秋田)

市川口女(埼玉) 3 (複 2—1 単 1—0) 1 県高志(福井)

園田(兵庫) 3 (複 2—0 単 1—0) 0 県倉吉西(鳥取)

県串木野(鹿児島) 3 (複 1—1 単 2—1) 2 県今治北(愛媛)

▼二回戦

成安(京都) 3 (複 2—0 単 1—0) 0 尚絅(宮城)

日和佐(徳島) 3 (複 1—1 単 2—0) 1 高森(山口)

県平商(福島) 3 (複 2—0 単 1—0) 0 県甲府第二(山梨)

山陽女(岡山) 3 (複 2—0 単 1—0) 0 昭和学院(千葉)

四条畷学(大阪) 3 (複 2—0 単 1—0) 0 高蔵女商(愛知)

三条東(新潟) 3 (複 1—1 単 2—1) 2 桐朋(東京)

弘前聖愛青森 3 (複 1—1 単 2—1) 2 長崎商(長崎)

県善通寺第一(香川) 3 (複 2—0 単 1—0) 0 桐生市商(群馬)

富田女(岐阜) 3 (複 2—0 単 1—0) 1 釜石南(岩手)

札幌静修南北海道 3 (複 1—1 単 2—1) 2 県彦根西(滋賀)

県新庄南(山形) 3 (複 2—0 単 1—0) 0 葦陽県福山(広島)

市一条(奈良) 3 (複 1—1 単 2—0) 1 県吉原(静岡)

県上市富山 3 (複 2—0 単 1—0) 0 那覇商(沖縄)

市川口女(埼玉) 3 (複 2—0 単 1—2) 2 土佐女(高知)

名古屋女商(愛知) 3 (複 1—1 単 2—0) 1 園田(兵庫)

真岡女(栃木) 3 (複 2—0 単 1—0) 0 県串木野(鹿児島)

▼三回戦

成安女(京都) 3—0 日和佐(徳島)

陣内岡崎 2 (15 15 2 2) 0 小春 木泉

田谷村 2 (15 15 3 1) 0 吉西 岡川

尼崎 2 (11 11 0 1) 0 春木

県平商(福島) 3—0 山陽女(岡山)

伏見助川 2 (5 18 1 3 16 15) 1 吉石 田田

作山葉 2 (15 15 1 1 10) 0 林剛 迫

千葉 2 (11 11 5 2) 0 石 田

伏見 2 (11 11 5 2) 0 石 田

四条畷学（大阪）3—0 三条東（新潟）
秋西尾本2（1515—56）0野高橋島
秋佐古本2（1515—113）0板海老名垣
西尾2（111011—4124）1野島
川森東2（1515—300）0三赤上平
田造所1（1691515—171592）2外斉藤崎
川東2（1111—140）0三上
森2（1112811—4911）1外崎
県善通寺第一（香川）3—0 弘前聖愛（青森）
富田女（岐阜）3—1 札幌静修（南北海道）
山口2（1515—101）0村横沢上
尾藤1（1157115—151）2今石田川
山口2（1112—690）0村上
日比野2（1111—080）0今川
県新庄南（山形）3—2 市一条（奈良）
清水口2（1515—760）0田焼宮
星川間0（65—1515）2佐古谷伯

▼準々決勝

成安女（京都）3—1 県平商（福島）
陣内崎2（1515—950）0作千葉山
田村谷0（910—1515）2伏川見
岡崎2（1111811—8611）1千葉
陣内2（1111—610）0助川
四条畷学（大阪）3—0 善通寺第一（香川）
秋本古2（1515—1043）0大田西所
西本尾2（1515—7130）0森川東
佐本古2（1515—1043）0大田西所

池田2（1111—210）0西山
藤小林井2（1515—120）0山田塚
池大貫田2（1515—550）0長中野尾
県真岡女（栃木）2—0 名古屋女商（愛知）
林山本2（1515—750）0佐土佐藤
黒崎2（1111—570）0大河内
藤黒崎井2（1815—1360）0中大河村
県上市（富山）3—0 市川口女（埼玉）
清水2（1111—3811）1古谷
星川0（46—1111）2佐伯

▼準決勝

成安女（京都）3—1 四条畷学（大阪）
陣内岡崎2（1515—980）0秋本八尾
谷尼崎2（1515—980）0佐本古
陣内1（61011—1112）2秋本八
岡崎2（1111—550）0秋本幸
真岡女（栃木）3—0 新庄南（山形）
藤井林2（1515—200）0早矢口川

藤井2（1111—650）0黒崎
藤小林井2（1515—410）0藤黒崎
池大貫田2（1515—850）0林本
県真岡女（栃木）3—0 県上市（富山）
清水2（1111—260）0尾藤
星川0（86—1111）2日比野
矢口2（1111—120）0山口
星本間0（311—1515）2日尾比野崎
清矢水口2（1515—460）0森山田口
新庄南（山形）3—2 富田女（岐阜）
秋本八2（1112—190）0川東

池大田貫2（157—1151）1矢清口水
藤井2（1111—120）0小野
▼決勝
真岡女（栃木）3—1 成安女（京都）
藤小林井2（1515—139）0田谷村美
池大貫田0（113—1515）2岡陣内崎
小林2（1111—1411）1尼崎
池用2（1115—861）1岡

■男子シングルス

▽東日本学生選手権大会（7月8日—12日・台東体育館）

▼三回戦＝今泉（中大）2—0宮崎（慶大）、岡田（法大）2—1木戸（日体大）、及川（早大）2—1山並（東北学大）、我妻（法大）2—0小島（明大）、笠井（青学大）2—1牧野（日大）、二上（早大）2—0志子田（日体大）、谷口（立大）2—0中山（神大）、鷲尾（中大）2—1武岡（早大）、田所（法大）2—0鈴木（慶大）、今井（早大）2—0村谷（日大）、本間（中大）2—0油野（法大）、浜谷（法大）2—0高橋（立大）、岩下（中大）2—0斉藤（法大）、遠藤好（日大）2—0門間（日体大）、杉本（早大）2—0尾崎（中大）、笠井（法大）2—0丸山（中大）

▼四回戦＝今泉2—0岡田、我妻2—0及川、笠井（青学大）2—1二上、鷲尾2—0谷口、今井2—0田所、本間2—0浜名、遠藤好2—1岩下、笠井（法大）2—0杉本

▼準々決勝

今泉2（151015—10155）1我妻
鷲尾2（1515—1050）0笠井（青学大）
本間2（1515—170）0今井
笠井（法大）2（151315—7151510）1遠藤

▼準決勝

鷲尾2（1515—470）0今泉
本間2（1515—740）0笠井

▼三位決定戦

笠井2（キケン）0今泉

▼決勝

本間2（1515—540）0鷲尾

■男子ダブルス

▼三回戦＝今泉・岩下（中大）2―0木戸・門間（日体法）、笠井・大和田（青学大）2―1高橋・谷口（立大）、我妻・笠井（法大）2―0鈴木・宮崎（慶大）、尾崎・小泉（中大）2―1杉本・及川（早大）、本間・鷲尾（中大）2―0福島・上野（慶大）、武岡・佐倉（早大）2―1相川・丸山（中大）、今井・二上（早大）2―0遠藤・涌井（日大）、草島・田所（法大）2―0牛渡・桐生（日体大）

▼準々決勝

今泉・岩下（2―1517―914）0 笠和田・井大
小尾崎・泉（2―1515―1111）0 我笠妻・井
鷲本間・尾（2―1515―1512）1 佐武倉・岡
二今井・上（2―151515―81017）1 田草所・崎

▼準決勝

今泉・岩下（2―1515―713）0 小尾泉・崎
鷲本間・尾（2―1515―39）0 二今井・上

▼三位決定戦

小尾崎・泉（2―1715―1411）0 二今井・上

▼決勝

今泉・岩下（2―151215―101510）0 鷲本間・尾

■女子シングルス

▼三回戦＝浦口（日女体）2―1中田（日体大）、柿崎（東女体）2―0三上（日女体）、池尻（日女体）2―1遠藤（日女体）、宮本（日女体）2―0元橋（日女体）、堀川（日体大）2―0菅沼（杉野）、栗原（東女体）2―0稲木（ロ女体）、北島（日体大）2―1田村（慶大）、谷沢（日女体）2―0時田（日女体）、小片（日体大）2―0田中（日女体）、加藤（山形）2―0吉田（日女体）、塩崎（日女体）2―1横尾（日体大）、大塚（日女体）2―0鈴木（日女体）、中村（日体大）2―0小林（日女体）、高坂（青学大）2―0落合（日女体）、保坂（日女体）2―0南場（早大）、本間（日女体）2―0三原（日女体）

▼四回戦＝浦口2―0柿崎、宮本2―0池尻、堀川2―1栗原、2―0北島、小片2―1加藤、塩崎2―0大塚、高坂2―0中村、本間2―0保坂

▼準々決勝

浦口（2―1111―57）0 宮本
高坂（2―1111―74）0 本間
小片（2―1111―14）0 塩崎
堀川（2―1211―118）0 谷沢

▼準決勝

浦口（2―1111―52）0 堀川
高坂（2―11711―1114）1 小片

▼三位決定戦

小片（2―1112―69）0 堀川

▼決勝

高坂（2―1111―15）0 浦口

■女子ダブルス

▼三回戦＝池尻・大塚（日女体）2―0時田・鈴木（日女体）、谷沢・塩崎（日女体）2―0山崎・宮武（青学大）、保坂・遠藤（日女体）2―0三上・津久井（日女体）、小片・堀川（日体大）2―0沢田・七野（共立）、高坂・漆畑（青学大）2―0稲木・小林（日女体）、宮本・落合（日女体）2―1栗原・石和（東女体）、中村・中田（日体大）2―0坂本・佐藤（昭和女）、浦口・本間（日女体）2―0田中・島（日女体）

▼準々決勝

谷塩沢崎（2―1515―4615）1 大池塚・尻
小堀川片（2―1518―416）0 塩谷崎・沢
浦本口間（2―1515―53）0 中中田・村
高漆坂畑（2―1515―57）0 落宮合・本
小堀川片（2―1515―33）0 遠保藤・坂

▼準決勝

浦本口間（2―1515―69）0 堀小川・片
高漆坂畑（2―1515―39）0 塩谷崎・沢

▼三位決定戦

浦本口間（2―1515―1011）0 漆高畑・坂

▼決勝

浦本口間（2―1515―69）0 堀小川・片

◇第2回中国実業団兼中国選手権大会（7月11日―12日・山口県下関市体育館）

■男子団体

▼一回戦 三菱重工（山口・下関）3―2国鉄後藤工場（鳥取・米子）、日立造船（広島・因島）3―2岡山市役所B（岡山）、山陽パルプB（山口・岩国）3―2川崎製鉄（倉敷）、日本鋼管（広島・福山）3―2興亜石油（山口・和木）

▼二回戦 三井造船（岡山・玉野）4―1三菱重工、山陽パルプA（山口・岩国）3―2日立造船、宇部興産（山口・宇部）5―0山陽パルプB、岡山市役所A（岡山）4―1日本鋼管

▼準決勝 三井造船3―0山陽パルプA、宇部興産3―2岡山市役所A

▼決勝

三井造船 3―1 宇部興産

○万代・小崎（2―1518―916）0 石川・木村
芳上野・上（1―5189―151315）2 末広・河○
○上野（2―1515―7815）1 末広
○芳上（2―1515―4120）0 河添

■女子団体（リーグ戦一チームが棄権）

山陽パルプ（岩国） 2―1 東洋ソーダ（南陽）

○渡辺・高尾（2―1111―3310）0 貞本
○渡辺・高尾（2―111110―5712）1 伊藤
渡辺・高尾（0―514―1517）2 伊河村・藤○

■一般男子シングルス

▼三回戦　小松(岡山市役所)2―0前田(日興)、宮岡(山パル)2―0小崎(三井造船)、河添(宇興)2―0兼森(山パル)、芳上(三井造船)2―0松田(三菱)、矢崎(日立)2―0末本(宇興)、藤井(岡山市役所)2―0梶原(日鋼)、石川(宇興)2―1林(山パル)、上野(三井造船)2―0石川(宇興)

▼準々決勝　小松(棄権)宮岡、芳上2―0河添、矢野2―0藤井、上野2―0石川

▼準決勝　小松2(8―15、15―6、棄権)1芳上、上野2(15―0、15―5)0矢野

▼決勝　小松2(15―9、15―2)0上野

■一般男子シングルス

▼準々決勝　上野・芳上(三井造船)2―0石川・木村(宇興)、林・宮岡(山パル)2―0松田・三原(三菱、市役所)、末広・河添(宇興)2―0梶原・前田(日本鋼管)、小松・藤井(岡山市役所)2―0万代・小崎(三井造船)

▼準決勝　上野・芳上2(15―0、15―4)0林・宮岡、末広・河添2(11―15、15―4、15―12)1小松・藤井

▼決勝　末広・河添2(15―11、15―10)0上野・芳上

■一般女子シングルス

▼一回戦　伊(東洋ソーダ)2―0津秋(山パル)

▼準々決勢　木村(中国銀行)2―0伊藤、永田(日生)2―0貞本(東洋ソーダ)、後藤(大洋漁)2―0高尾(山パル)光畑(倉レ)2―0渡辺(山パル)

▼準決勝　永田2(11―9、11―1)0木村、後藤2(11―4、11―2)0光畑

▼決勝　後藤2(11―4、11―4)0永田

■一般女子ダブルス

▼準決勝　光畑・木村(倉レ、中銀)2(15―10、15―9)0伊藤・河村(東洋ソーダ)、後藤・永田(大洋、日生)2(15―5、15―4)0大西・渡辺(山パル)

▼決勝　後藤・永田2(15―5、5―15、15―5)1光畑・木村

■壮年男子▼シングルス決勝

井原(国鉄米子)2(15―12、15―5)0松永(国鉄後藤)

▼ダブルス決勝　井原・松永(国鉄)2(15―1、15―13)0水川・社(岡山市役所)

◇石川県社会人選手権大会

■青年男子シングルス

▼準々決勝　松下(電通)2―0安江(津田駒)、堂谷内(津田駒)2―0小中(倉庫精練)、黒田(津田駒)2―0原(津幡高教)、山本(津田駒)2―0東(倉庫精練)

▼準決勝　松下2―0堂谷内

山本2―1黒田

▼決勝

松下2(15―7、15―10)1山本

■青年男子ダブルス

▼準々決勝　松下・奥村(電通、自営)2―0伴・南(辰ノ口協会)、安江・堂谷内(津田駒工業)2―0中田・小中(倉庫精練)、北方・原(藤花高教、津幡高教)2―1東・村中(倉庫精練)、黒田・山本(津田駒工業)2―0山田・上田(三建設備、北陸通建)

▼準決勝　松下・奥村2―0安江・堂谷内、北方・原2―1黒田・山本

▼決勝

松下・奥村2(15―8、12―15)1北方・原

■青年女子シングルス

▼一回戦　田中(辰ノ口協会)2―0庭田(辰ノ口協会)、東(辰ノ口協会)2―0今西(辰ノ口協会)、石田(着護学校)2―0東出(辰ノ口協会)

▼準決勝　藤井(穴水高教)2―0田中、石田2―0今西

▼決勝

藤井2(11―3、11―0)0石田

■青年女子ダブルス

▼一回戦　鉄矢・渡辺(住宅供給公社、渋谷工業)2―0田中・東(辰ノ口協会)、藤井・村田(穴水高教、松任高教)2―0庭田・東出(辰ノ口協会)

▼決勝

藤井・村田2(15―8、15―1)0鉄矢・渡辺

■成年男子シングルス

▼一回戦　岡崎(自営)2―0毛利(国府郵便局)、玉井(小松製作)2―0池田(?)

▼準決勝　岡崎2―0原(小松製作)、玉井2―0(キケン)竹村(自営)

▼決勝

岡崎2(15―10、15―3)0玉井

■成年ダブルス

▼決勝

玉井、毛利(小松・国府)2(15―12、10―15)0岡崎・谷(七尾協会)

■混合ダブルス

▼一回戦　東・渡辺(倉庫精練、工業)2―0小中・本島(倉庫精練、北商)

▼準決勝　北方・藤井(藤花高教、穴水高教)2―0東・渡辺、奥村・石田(自営、着護学校)2―0中田・鉄谷(倉庫精練、住宅供給公社)

▼決勝

北方・藤井2(15―5、16―17、15―4)1奏村・石田

《表紙》



第11号で、関東学連の久永君に書いてもらった〝花開く学生界大型新人〟の代表が、今日号の表紙に次ったトリオである。尾崎幹夫（中央＝中大一年）176㌢、小泉司（左＝中大一年）182㌢、谷口寛（右＝立大二年）176㌢。いずれも文字どおりの大型である。

しかし、山高きがゆえに尊からず、ただ、この三人、ガラが大きいからいい、というわけではない。持てる素頼、たゆまざる努力、まじめな性格――いまはまだ、ツボミの段階だが、いずれ近い将来に花が開き、実を結んだとき「ハルトノなんか、クソくらえ」（失礼！）という堂々たる世界的プレーヤーになると期待されるがゆえに、推奨したい大型なのである。

このトリオだけではない。大学球界にはホープが続出しつつある。たのもしいことだ。

お知らせ

継続の申し込みをお早く

継続講読のお申し込みを、お早くお願いします。本号は第13号ですので、創刊号からの方は本号から、第2号からお申し込みの方は次号14号から新規切り換えになります。

振替用紙は毎号、本誌にはさみ込んであるはずですが、もしない場合は、編集部まで、ご請求下さるか、別の方法でお送り下さっても、けっこうです。

バックナンバーは創刊号が売り切れました。第2号からの分も、在庫は百部たらずです。ご入用の方はお早めに。

ユ杯のプロとポスターはおかげさまで好評。プログラムは全部なくなりましたので、あしからず。ポスター（赤、青二通り）はまだ少々あります。

住所や地番を変更された方は至急ご連絡下さい。時々、郵便物が舞い戻ってくることがあります。

読者の力作写真を募集します

読者の方々が撮影されたバドミントン関係の写真を募集します。現在、本誌写真グラフは取材網の関係で、全国的な競技会や東京地区の大会に限定されている状態です。これを打破するため、皆さんのお力を借りたいと思います。題材は何でもけっこう。年に二、三度は、読者のグラフを組みたいと思います。採用分には薄謝を呈します。

編集後記

☆…夏休みというような、長期の休暇期間があると、とかく仕事に不便だ。試合にレジャーに、選手、役員など関係者があちこちに散らばってしまうので連絡がとれにくい。

本誌が創刊されたのは昨年の八月末。しかし創刊号はユ杯の特集オンリーで編集、その大部分を新聞記者が受け持ったので休みによる〝不便〟は感じなかった。だから、実質的な〝夏休み〟の経験は編集部も今回が始めて。印刷所にも休暇があり、苦労のしっぱなしだった。

★…本号の中心、インターハイだけは、なんとか形をつけたつもりだが、団体戦のとき依頼した男女ベスト8校関係者の手記関係で、集まったのは、結局、掲載分だけ。他の学校からも「もう来るか、もう来るか」と一日延ばしに待って、結局、ムダ骨をなった。はなはだ残念なことだ。

この欄で何度も呼びかけているが、すべての問題について関係各位の絶大なご協力を、声を大にして、再びお願いする。発行がおくれて迷惑するのは、読者の皆さんだけ。編集部としては、毎度、読者に頭を下げる以外に手がなく、実際のところ、やりきれない。

☆…前号（第12号）から、第一ページのコラムを変えてみた。内容的に読者の要望に沿うかどうかは、まだ自信がないが、一線をしりぞいた先輩たちの話「私の場合」と合わせ、参考になる点が多いと思う。

最近、あちこちで「コートマナーが悪い」という話を聞く。本誌愛読者には、指摘されるような人はいないだろうか、スポーツは〝心〟もつくることをお忘れなく。

（汗）

ラストコーナー

ラストコーナー

次号予告

36ページ建ての原則を守ろうとすると、どうしても紙数が足りなくなり、今月は「バド界ができるまで」「アマ規定とバドミントン」などを収容できなかった。

そこで次号は、これらのもののほか、関西学連におねがいした「女子学生界のホープ」や用具委員会の手による新連載「用具の話」を登場させます。

巻頭の「私のひとこと」は天野博江さんの予定。競技会としては全日本教職員適手権、日韓高校大会、西日本学生選手権など。日韓高校には日本協会の岡村審判副委員長が同行しましたので、同氏に韓国の現状紹介もお願いしてあります。

【バドミントン界】 第13号
昭和45年8月25日 印刷
昭和45年9月1日 発行
編集兼発行人 川端昇市
発行所 東京都渋谷区神南一の一の一 岸記念体育会館内 日本バドミントン協会
電話 四六七・三一一一（内線）二五一 四六七・七〇九五（直通）
郵便番号・一五〇
振替口座・東京三二一九三
印刷所 東京都江東区永代一の五の二 有限会社 和田印刷所
定価 一部 百円

YONEYAMA RACKET

スマッシュ!



NO.8000

Alumina Hy-Power

アルミナハイパワー

アルミフレームに　アルミシャフト採用!!

軽い ― アルミニウム合金の比重は約2.7で、銅の8.9や鉄の7.9に比べて⅓に過ぎず、非常に軽くリストの弱いプレーヤーに向きます。

強い ― 特殊製法によるアルミニウム合金をラケットフレームに用い、鋼鉄に匹敵する強さが発揮されました。

弾む ― 木製、スチール製に比較して柔軟性、反撥力が抜群。打球の初速が早く、更に加速が増加してすばらしいスマッシュが打てます。

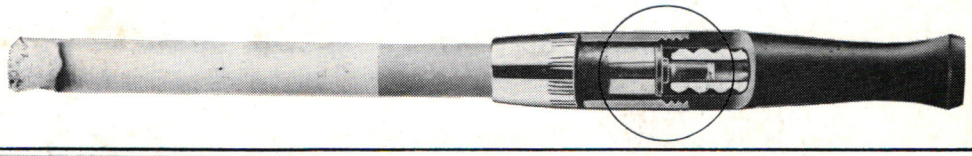
株式会社 ヨネヤマラケット

全国運動具専門店でヨネヤマのラケットと御指定下さい。

月刊「バドミントン」　第十三号
昭和四十五年九月一日発行
昭和四十四年十二月二十三日（毎月一回一日発行）
第三種郵便物認可
発行所
東京都渋谷区神南一ノ一ノ一
岸記念体育会館内
日本バドミントン協会
定価百円



ヤニ掃除の必要がなくなりました――《有害タール》を約90％もとるパイプです

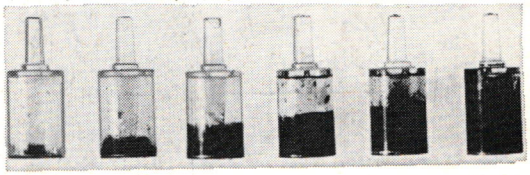




カートリッジタイプの

フレンドホールダーS

スペアーカートリッジ10本付・価格＝￥400



PAT. NO. 800395/PAT. P. NO. 42. 44127·43. 22729

フレンドホールダーSS　フレンドホールダーSL　フレンドホールダーS（ブライヤー本巣牙）

たばこ店・デパート・薬局・喫煙具店・駅主要売店にて発売中

発売元
テラサキ株式会社
東京都江戸川区興宮町43